

主要な施策の成果報告書

は じ め に

令和6年度は、「第5期恵庭市総合計画」第4次実施計画や、社会変化に対応するため見直した「第3期恵庭市総合戦略」に基づき各種施策を推進し、本市の未来を見据えたまちづくりを着実に進めてきました。

また、本市を取り巻く状況の変化を踏まえ「都市計画マスタープラン」を改定し、恵庭・恵み野・島松のJR3駅を中心とした「コンパクトなまちづくり」を基本としながら、多様なライフスタイルに適した住宅地や企業用地の創出、恵庭の魅力を高める取組など、水と緑、花に囲まれた豊かな暮らしが実現できる「ガーデンシティの確立」を、新たなまちづくりの方向性としたところです。

令和7年に実施した市民意識調査において、回答者の92.2パーセントが、本市の住み心地を「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と評価しています。

一方、長引くエネルギー・食料品などの物価高騰により、市民の暮らしや企業活動のほか、公共施設の維持管理費の増加など、本市の財政にも影響が及び続けています。

このような中、令和6年度予算は、これまで市民の力によって築いてきた花や読書のまちづくり、豊かな自然や農業、活発な市民活動など、本市の多くの地域資源を「まちの文化」として捉え、新たな社会情勢の変化に対応しながら、文化を創造するまちとして発展し続けることを目指し、「まちの可能性に挑戦する 令和6年度予算」として、重点施策に次の「5本の柱」を掲げて編成しました。

- 1 恵庭の新たな未来を見据えたまちづくり
- 2 子どもたちが元気で光り輝くまちづくり
- 3 市民の暮らしと健康を守るまちづくり
- 4 人と人とがつながり誰もが暮らしやすい共生のまちづくり
- 5 デジタル・脱炭素社会の実現を目指したまちづくり

この重点施策を中心に、令和6年度に実施した事務事業の主なものについて、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」としてまとめましたので、報告いたします。

目 次

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標０１ 様々な担い手によるまちづくり.....	405
●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進.....	405
●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進.....	405
目標０２ 時代のニーズに沿った変革.....	406
●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築.....	406
●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な 財政運営の確立	408
●公共施設の適正配置による機能面の充実.....	409
●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付.....	409
目標０３ ともに学びともに知る情報.....	410
●市民と行政との情報共有の推進	410
●開かれた行政運営の推進	410

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標０４ 災害に強い地域防災力	412
●防災意識の普及、推進	412
●耐震改修の推進	412
目標０５ 支えあう消防救急体制	413
●消防防災体制の充実・強化	413
●防火安全対策の推進	413
●応急手当普及啓発活動の推進	413
目標０６ 安全安心の日常生活	414
●交通安全・防犯活動の推進	414
●消費生活相談事業の推進	415
目標０７ 助け合いのちを大切にすまち.....	416
●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び 地域支援の推進	416
●自立支援事業の推進	417
●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進.....	420
●骨髄等提供ドナー支援の推進	420
●新型コロナウイルス感染症対策の推進.....	420
目標０８ 夢と健康を育むまち	421
●第２次健康づくり計画・第３次食育推進計画・自殺対策計画・ 第２期えにわっこ☆すこやかプランに基づく事業実施.....	421
●予防接種・健康診査・がん検診の推進.....	422
●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進.....	426
●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境.....	427
目標０９ 持続可能な地域医療・介護体制.....	430
●夜間・休日診療体制の維持	430
●地域包括ケアシステムの発展	430
●医療費の助成	432
●国民健康保険・後期高齢者医療の状況.....	434

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標１０ いきいきと働きやすいまち.....	436
●企業誘致環境の整備	436
●多様な人材を活かせる労働環境の整備.....	436

目標 1 1 恵まれた土地を生かした農林業.....	438
●生産基盤整備の充実	438
●経営の強化と担い手の育成・確保.....	438
●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進.....	439
目標 1 2 暮らしを支える商業	441
●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援.....	441
●中小企業経営改善実態調査	441
●金融対策事業	441
●えにわ応援商品券事業	441
●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進.....	442
目標 1 3 来てみたいまち 住んでみたいまち.....	443
●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出.....	443
●移住・定住の促進	445
●都市間交流の促進	445
基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち	
目標 1 4 地域で育む子育て環境	446
●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討.....	446
●保育園、認定こども園における待機児童の解消.....	451
●保育士等の人材確保と質の向上	453
●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進.....	453
目標 1 5 心豊かな思いやりをもった子どもの育成.....	454
●体験型事業の推進	454
●読書活動による子どもの育成	455
目標 1 6 子どもの自立成長を促す学校教育.....	456
●ふるさと教育の推進	456
●教育環境の整備促進	457
目標 1 7 手を取り合い創造性を育む文化芸術.....	461
●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進.....	461
●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり.....	464
基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち	
目標 1 8 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり.....	466
●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進.....	466
●新市街地の拡大検討	466
目標 1 9 水と緑豊かな生活空間づくり.....	467
●水・緑など恵庭の魅力の維持	467
●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保.....	468
●防衛施設周辺整備等事業の推進	469
目標 2 0 安全で円滑な地域交通	471
●除排雪の維持	471
●身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築）	471
●橋梁耐震化など安全な道路網の維持.....	472
●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持.....	473
目標 2 1 安定した水供給と持続的な下水処理.....	474
●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営.....	474
●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、 安定的・持続的な上下水道事業の運営.....	474
●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、 効率的な資源・エネルギー循環の取組み.....	475
目標 2 2 住み続けたくなるまちづくり 住まいづくり.....	476

目標 2 3	ごみの減量と適正な処理	478
●	ごみ処理施設の整備・適正管理	478
●	ごみの分別・収集体系の構築	479
目標 2 4	次世代へつなげる環境	480
●	地域環境美化活動への支援	480
●	地域に応じた自然環境の保護と管理.....	480
●	省資源・省エネルギーの促進、普及啓発.....	480

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標０１ 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」を市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。

- ・市民活動支援補助金（P. 62）
まちづくりチャレンジ協働事業補助金（２０団体 １６事業）
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金（５団体 ５事業）

１， ７ １ ７ 千円

１， ４ ６ ７ 千円

２ ５ ０ 千円

・市民活動センター推進事業（P. 61・65）

市民活動のより一層の活性化を図るとともに、町内会や市民活動団体の自主的・主体的な活動を総合的に支援する「ＮＰＯ法人恵庭市市民活動センター運営協議会」との協働により、市民活動団体に対し、活動拠点の提供、機器貸出、情報発信などを行い、活動を支援しました。

令和７年３月末現在会員数：１２９（団体８０ 個人１４ 企業３５）

備品貸出：３２９件 印刷利用：６１７件 ロッカー：６件 展示：１６件

市民活動センター情報を回覧や公共施設等指定の場所に配布して情報発信

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館維持管理・自治活動支援（P. 61）

地域会館維持管理費補助金

１， ０ ８ ０ 千円

地域会館借上費補助金

１， １ ３ ４ 千円

（島松東町、相生町、末広）

地域会館除却費補助金（松園会館、穂栄中央集会所）

１， ０ ０ ０ 千円

町内会活動活性化事業補助金（１７団体 １５事業）

１， ４ ８ １ 千円

自治活動交付金

２ ４， ６ ４ ３ 千円

・地域会館改修事業（P. 61）

６， ６ ７ ７ 千円

地域会館の屋根外壁塗装改修工事（白樺会館）

・地域会館照明ＬＥＤ化事業（P. 62）

７， ７ ８ ８ 千円

地域会館のＬＥＤ化改修工事

（中恵庭会館、黄金北会館、文京会館、柏木中央会館、恵み野東会館、白樺会館、さかえ会館）

・「えにわ知恵ネット」事業（P. 62）

登録団体数 １１４団体（団体８０ 個人３４）

・地域担当職員制度の実施

地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

- ・生活環境改善要望（２４１件）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

目標 02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・第7次行政改革推進計画の推進

第7次行政改革推進計画における3本柱、「時代に即した業務手法の見直し」、「市民満足度と利便性の向上」、「健全な行財政基盤の強化」に基づき施策を推進しました。

- ・時代に即した業務手法の見直し
 - ・事務事業の見直し
 - 令和4年度からの事務事業進捗管理 4事業
 - 令和6年度からの事務事業評価 3事業
 - ・行政評価マニュアルに基づく市民参加状況の進捗管理
 - ・行政評価マニュアルの見直し
 - 専門部会において課題や見直すポイントを共有
- ・市民満足度と利便性の向上
 - ・市民提案制度の検討
 - 専門部会で市民提案制度の仕組みを検討
 - ・市民相手の手続きに係る押印見直しの推進
 - 押印廃止可能様式のうち98.7%の押印を廃止（令和6年度末現在）
- ・健全な行財政基盤の強化
 - ・内部統制制度の推進（評価）
 - 定例モニタリング 21課
 - 事故発生時モニタリング 2課
 - ・公共施設等総合管理計画実施計画の進捗管理（削減目標3%）
 - 実施計画における公有財産面積 259,680.53㎡
 - 削減面積の累計 12,432.54㎡（△4.79%）
 - 令和6年度削減面積 2,579.48㎡（解体等）
- ・第7次行政改革推進計画
 - ・次期行政改革推進計画の見直しに向けた検討
 - 第7次行政改革推進計画の進捗確認
 - （仮称）新行政改革大綱（骨子案）を策定

・恵庭市デジタル化推進計画の推進

- ・行政手続きのオンライン化
 - 【恵庭市デジタル化推進計画】に基づき、行政手続きのオンライン化を推進するため、新たに6件の手続きをオンライン化しました。
 - ・入札参加資格審査申請
 - ・粗大ごみ収集の申込
 - ・災害援護資金の貸付申請
 - ・公園予約（柏木地区レクリエーション施設キャンプ場）
 - ・手話遠隔サービス申請
 - ・子ども医療費助成受給者証交付申請（令和7年4月からの助成対象拡大分）

- ・ R P A、A I－O C Rの活用業務の拡大

市民税賦課業務や法人市民税、固定資産税、軽自動車税の入力補助やデータチェック業務等に対して、令和元年度に導入したR P Aシステム、A I－O C Rの活用範囲を拡大することで作業時間の削減を図りました。

また、全庁向けに研修会等を開催し、これまで活用してきた業務以外での導入を進めました。

- ・ 令和6年度新規導入業務 11業務

- ・ 令和6年度作業時間削減効果（累積） 1, 068時間

- ・ 書かない窓口の推進（P.56）

1, 378千円

令和5年度に窓口業務支援システムを導入し、住民票や戸籍等の31種の証明書の申請について、【書かない窓口】による手続きを開始しました。令和6年度には新たに3手続に対対象を拡大しました。

- ・ 転入手続 ・ 転居手続 ・ 転出手続

- ・ 恵庭市公式L I N Eアカウントの機能拡大（P.56）

162千円

令和5年度に開設した市公式L I N Eアカウントはプッシュ通知を行うだけでなく、市民から市のような情報にアクセスしやすい環境を整備しており、令和6年度には24機能を追加しました。

公式L I N E追加機能

- ・ 粗大ごみの収集申込
- ・ 防災無線のテキスト配信
- ・ 子ども医療費助成受給者証交付申請（令和7年4月からの助成対象拡大分）
- ・ 学校連絡機能
- ・ 児童手当制度改正対応（申請判定）
- ・ 公園の不具合通報
- ・ スキー・スケート開設情報配信機能
- ・ 手話遠隔サービス申請 ほか

- ・ G I S活用による防災情報のデジタル化事業（P.63・77・79・151）

34, 410千円

関係部門で台帳として管理されている避難行動要支援者についてG I Sを活用して地図上にプロットし、浸水想定区域図等と重ね合わせて可視化することで、実効性のある個別避難計画の立案に役立て、地域防災力を高めました。

- ・ G I S災害対策用レイヤー作成事業
- ・ 避難行動要支援者個別避難計画作成事業
- ・ G I S地番図データ再整備事業
- ・ 統合型G I Sシステム更新整備事業
- ・ 住居表示G I Sデータ作成業務

- ・ 職員研修の充実

人材育成基本方針に基づき作成された職員研修計画を適宜実行し、人材の育成に努めました。

他市との合同研修は、江別市、北広島市との3市合同研修及び千歳市との包括連携協定に基づく合同研修を実施しました。

O J T計画「職員育成計画」は、対象を新規採用職員及び採用2年目職員とし、課題解決への対応を学習し、また、市民の視点に立ったサービス提供に向けて進めています。

- ・ 階層別基本研修（新規採用職員研修ほか）
- ・ 特別研修（キャリアデザイン研修、プレゼンテーション研修ほか）
- ・ 先進都市派遣研修

・広域共同事業の推進

近隣12市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と締結している「連携施策の充実拡大に関する覚書」による連携事業に取り組みました。

・さっぽろ連携中枢都市圏事業数 53事業

連携した企業誘致の促進、公立夜間中学の共同活用、圏域外からの移住促進等

・千歳市との連携事業数 28事業39項目（うち、情報共有 22項目）

実施 17事業（共同プロモーションや遺跡に関する市民講座等の共同開催、有害鳥獣等の廃棄物にかかる共同処理体制の検討、合同企業説明会の共同開催等）

・おくやみ窓口の推進

死亡に係る手続きが1つの窓口で行えるおくやみ窓口の開設を継続しました。多数ある手続きのワンストップ化を図り、遺族の方の負担を軽減し、市民サービスの向上を図りました。

おくやみ窓口利用者数 246名（利用率28.6%）

・恵庭市公式アプリ開発事業（P.67）

7,432千円

令和6年度は、これまで開発をしてきたウォーキングポイント、健康管理機能やECサイトを実装しました。また、災害時などに電波が途絶えた状況でも、防災ガイドブックなど必要な情報を確認できる災害時オフライン機能を開発・実装しました。

・アプリ登録者数 8,000人

・アプリ参加事業者数 161か所

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・第6期総合計画策定事業（P.68）

4,302千円

令和8年度から始まる第6期総合計画を令和6年度～令和7年度の2か年で策定するため、庁内に総合計画策定委員会及びワーキング部会を設置するとともに、市民意見を聴取し、市民参画のもと策定を進めました。

・市民意識調査 無作為抽出により2,000名に送付。805名から回答。

・市民まちづくりワークショップ 公募委員18名により4回実施。

・分野別まちづくりワークショップ 5分野において実施。延べ62名参加。

・中学生への講座・アンケート 全5校663名参加。

・高校生・専門学校生・大学生からの意見募集 高校3校、専門学校2校、大学1校で実施。

・総合計画シンポジウム 約100名参加。

基調講演「地域政策の新たな潮流と総合計画の意義－文化創造都市への挑戦－」

講師：小磯 修二氏（北海道文教大学地域創造研究センター長）

パネルディスカッション：「恵庭の魅力と特性 地域資源の再発見」

・地域別意見交換会（市民の広場） 4回実施。延べ151名参加。

・総合計画審議会 公募委員を含む20名。2回開催。

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納、スマホアプリ【P a y P a y、L I N E P a y等】、エルタックス、クレジットカードによる納付を実施し、曜日や時間を問わない収納を行い、継続して納付方法の多様化による利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税（普徴）		固定資産税・都市計画税		軽自動車税種別割		国民健康保険税			
	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6		R5	
1 期(6 期)	74.6%	74.9%	84.3%	83.1%	83.4%	81.8%	79.6%	(83.5%)	81.3%	(83.0%)
2 期(7 期)	73.6%	77.3%	89.0%	88.2%			83.0%	(82.0%)	81.9%	(81.3%)
3 期(8 期)	76.1%	77.1%	87.6%	85.9%			82.9%	(85.0%)	83.4%	(83.2%)
4 期(9 期)	80.0%	71.2%	90.7%	90.6%			83.6%	(84.7%)	82.6%	(84.2%)
5 期(10 期)							84.7%	(86.7%)	83.6%	(86.4%)
期別計	76.1%	75.1%	87.9%	86.9%	83.4%	81.8%	82.8%		83.1%	
前年比	+1.0 ポイント		+1.0 ポイント		+1.6 ポイント		△0.3 ポイント			
コンビニ	42.3%	41.5%	23.7%	23.2%	50.9%	52.0%	25.7%		24.1%	
スマホアプリ	6.4%	4.1%	1.3%	1.2%	1.8%	1.6%	2.9%		2.0%	
エルタックス	－	－	14.4%	2.2%	17.9%	4.1%	－		－	
クレジット	1.8%	1.5%	1.2%	1.1%	1.7%	1.8%	0.5%		0.5%	

※コンビニ、スマホアプリ、エルタックス、クレジットの納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合

※エルタックスは金融機関窓口での納付分を除いた分を表示

●公共施設の適正配置による機能面の充実

・複合施設の利用促進

市民活動の拠点「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」

貸部屋数13か所 来館者数327,806人 各室利用人数75,966人

●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付

・マイナンバーカードの交付円滑化事業（P.79）

予約制、休日・平日夜間交付窓口の開設を継続したほか、出張申請支援などマイナンバーカードの円滑な申請・交付を図り、市民の利便性が向上する取り組みを実施しました。

休日・平日夜間交付窓口の開設 休日14日、平日夜間46日

出張申請サポートイベントの実施 20回 申請1,194件

マイナンバーカード交付率 91.2%（令和6年度末現在）

マイナンバーカード交付数 7,572枚（累計64,175枚）

コンビニ交付サービス利用件数 23,720件（令和5年度 10,807件）

目標０３　ともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実（P.58） 18,553千円

広報えにわ発行 409,610部（月平均34,134部）

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用（P.58） 6,652千円

恵庭市からのお知らせ	月～金曜日各日3回 土曜日1回、日曜日2回、月～金曜日同日再放送あり
恵庭タウンガイド	月～木曜日各日1回
生活環境課からのお知らせ	週3回
みんなで地域防災	毎週金曜日1回
保健センターからのお知らせ	毎週木曜日1回
イベント放送（職員の声）	年2回
メール配信	月2回

・出前講座の実施

実施件数 164回 受講者数 6,395人

・市公式SNSでの情報発信

生活情報やイベント情報を広く伝えるため、市公式Facebook及び市公式X（旧Twitter）を継続運用し、情報発信しました。

●開かれた行政運営の推進

・広聴活動

市民生活に関する相談窓口の充実を図るため、庁内をはじめ関係機関と連携しながら、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声（苦情・相談など）	24件	
弁護士法律相談	36回	199人
司法書士法律相談	4回	15人
人権委員・行政委員相談	2回	7人
総合行政相談	2回	2人

・市民の広場の実施

・開催テーマ：「みんなで10年後の恵庭を考えよう」

開催日：10月21日	恵み野会館	参加者32名
10月22日	島松公民館	参加者35名
10月24日	市民会館	参加者38名
10月29日	市民会館	参加者46名

ワークショップ形式で、グループ発表、市長との意見交換を行いました。

・パブリックコメントの推進

パブリックコメント実施状況（11案件、13名、意見数16件）

・議会文化芸術回廊の設置

市民が文化芸術に触れ、議会を知ってもらう機会とするため、市内芸術家の作品を議場廊下へ展示する文化芸術回廊を設置しました。

設置日：12月23日

展示数：写真3点、絵画3点、書道3点、アート書道2点、パッチワーク2点

・議場コンサートの開催

市民が議会を身近に感じ、気軽に議場へ足を運んでもらう機会とするため、本会議の議場を開放し、定例会会議開始前に恵庭市にゆかりのある個人・団体による議場コンサートを開催しました。

開催日：令和6年第2回定例会（6月20日）

出演者 MiSa 傍聴者28名

令和6年第3回定例会（9月17日）

出演者 西野美穂 傍聴者54名

令和6年第4回定例会（11月29日）

出演者 北海道文教大学附属高等学校吹奏楽部 傍聴者30名

令和7年第1回定例会（2月25日）

出演者 Ciitá dei fiori ～花のまち～ 傍聴者26名

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標０４ 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくり、自然災害対応を見据えた強靱化の推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・各防災計画の推進（P. 151）

９，００４千円

災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者個別避難計画の作成を推進し、平常時からの市民の防災意識の向上と、円滑な避難支援実施の仕組みづくりに取り組みました。

・避難行動要支援者個別避難計画作成の推進

対象者：１，７４４名 回答者：６３０名 作成同意者：１９６名 計画完成者：１７７名
プランナー研修会の開催：３回 プランナー登録者数：２２６名

- ・GIS災害対策用レイヤー（デジタルハザードマップ）の作成
- ・防災ガイドブックの更新：４２，０００部発行（全戸配布）

・自主防災組織等活動支援助成金（P. 151）

１，５５５千円

自主防災組織の活動を支援し、活動の活性化や組織率の向上を図り、災害に強い地域防災力を推進するため、自主防災組織における防災資機材の購入や防災訓練等の活動に対し、経費の一部を助成しました。

- ・令和６年度末 自主防災組織 ４５組織（昨年度末４３組織）
- ・防災活動支援（ハード） ２件
- ・防災活動支援（ソフト） ２４件
- ・自主防災設立準備支援 １件

・避難所防災力向上事業（P. 151）

３，３７９千円

災害時に利活用ができる避難行動要支援者輸送兼非常用電源車両を導入しました。

・災害用物資備蓄品整備事業（P. 151）

７，２９８千円

「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の備蓄を計画的に整備しました。

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進（P. 134）

- ・平成２２年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始
- 令和６年度実績：診断 １２件、改修 ０件、除却 １件

目標０５ 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防防災体制の充実・強化

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防・救急車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新（P. 149～150）

・消火栓更新整備事業	21基	10,672千円
・はしご付消防ポンプ車更新整備事業	1台	29,173千円（令和6年度分）
＊リース期間 平成29年2月1日～令和9年1月31日		
・札幌圏消防共同指令センター整備事業	1式	50,220千円
・消防救急デジタル無線共同整備事業	1式	40,898千円
・消防用資器材整備事業	1式	6,533千円
・消防団資器材整備事業	1式	1,436千円
・救急資器材維持管理計画	1式	4,728千円
・学生消防サポーター制度	令和6年度	107名登録

・メディカルコントロール体制の充実（P. 147）

救急救命士の研修及び病院実習を実施し、特定行為を実施するために必要な資格の取得と隊員の知識、技術向上を図り、救急体制の向上に努めました。

●防火安全対策の推進

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・令和6年度末設置率：74.8%（昨年度末76.0%）
- ・推進活動：出前講座の実施 4回
- ・防火対象物立入検査：360件

●応急手当普及啓発活動の推進

・応急手当普及啓発活動の推進（P. 149）

- ・バイスタンダー養成等の救急救命講習会の実施
開催状況 上級（2回・19人）普通（55回・564人）一般（30回・624人）
救命入門（22回・1,182人）
- ・小学校6年生、中学校2年生への救命講習の実施（令和6年度）
市内全小学校 受講者総数571名
市内全中学校 受講者総数604名
- ・市職員への救命講習の実施（令和6年度）
受講者総数 76名

・AEDの普及・促進（P. 148）

- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数（令和6年度末）：238施設

目標０６ 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画（令和３年度～令和７年度）」に基づき、地域や関係団体、警察署と連携をとりながら各種事業や運動を展開し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の未然防止に努めました。また、防犯協会を中心に地域単位での防犯組織づくりを進めるとともに、防犯施設の整備促進など防犯体制の強化に努めました。

・自主防犯活動の促進（P. 60）

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 歳末警戒巡回パトロール及び地域安全運動の実施

令和６年１２月１９日に金融機関、コンビニ、商業施設、飲食店等にて実施

3) 青色回転灯車によるパトロール及び防犯パレードの実施

・防犯灯等の設置状況（P. 61）

８２０千円

令和６年度新設・廃灯状況 防犯灯 新設１２箇所、廃灯４箇所

・防犯カメラ設置補助（P. 61）

９６０千円

令和６年度設置補助金 ６町内会、６台

・交通安全啓発活動の実施（P. 59）

1) 人身事故発生状況（各年１２月末現在）（人）

区分 年	発生件数	負傷者	死者
R6年	97	112	1
R5年	77	91	1
比較	20	21	0

2) 交通安全啓発事業

・交通安全警戒・注意等の看板の設置 １２基

・交通安全運動の実施 ４期（４月・７月・９月・１１月）４０日

・自転車マナー啓発の実施 恵庭北高校１回、恵庭南高校２回

・えにわサイクルパーク利用実績 団体利用１，７６１人、個人利用１０，９３３人

・ドライブシミュレータを活用した高齢者安全講習１回、２６人

・自転車シミュレータを活用した安全運転診断１回、７１人

・交通安全教室の開催（人）

区分	幼稚園・保育園・ 認定こども園	小学校	町内会等	合計
回数	68	45	1	114
参加人員	4,418	3,137	13	7,568

3) 運転免許証自主返納出張窓口の開設

開設回数１２回、免許証返納者数８２人

4) 交通指導員の活動

・交通安全指導員（１２名）

４期４０日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施

・交通安全児童指導員（１０名）

市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業（P. 139）

12,500千円

・区画線塗布工事

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R6 年度	22,511	36,343	1,181	100
R5 年度	20,341	37,366	1,271	39
比 較	2,170	△1,023	△90	61

●消費生活相談事業の推進

特殊詐欺や悪質商法等の消費トラブルなどに迅速・的確に対応するため、有資格者による消費生活専門相談員を配置し、消費者の保護、被害の未然防止を図りました。また、消費者協会と連携し消費者被害防止セミナーを開催するなど正しい情報や知識を広く市民に提供し、自己防衛のできる消費者の育成を図りました。通話録音機能等の特殊詐欺防止機能付き電話機等の導入費用を補助する「特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金」の推進を図りました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施（P. 61）

6,523千円

消費生活相談業務

区 分	R6 年度	R5 年度	増 減
相談件数	386	419	△33

（相談内訳）

区 分	契約・金銭 トラブル	サイト 登録等	通信販売	勧誘 訪問販売	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	73	13	118	39	9	19	115	386

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
高齢者等消費者教育について	6	126

- 1) パネル展の開催 3回
- 2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・L Pガス)
調査回数：毎月1回
調査地区：14店舗
- 3) 試買量目調査の実施状況
実施回数：年1回
調査品目：生鮮食料品 6品目
調査地区：9店舗
- 4) 消費者被害防止セミナー開催
テーマ：「特殊詐欺事例と防止対策について」、「円満な相続の実現のために」、
「キャッシュレスって何？」
参加者：24人
- 5) 市内街頭啓発の実施 年6回
- 6) 消費者被害防止ネットワークの推進 情報発信12件

・特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金（P. 61）

295千円

補助金交付件数：30件（1件につき上限1万円）

・無料法律相談の実施（P. 59 目標03に別掲）

1,188千円

弁護士法律相談 36回 199人
司法書士法律相談 4回 15人

目標０７ 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び地域支援の推進 (P. 89～90・96～98)

・児童通所支援等福祉サービス

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R6 年度	13,808	230	177,507	35,253	289	399,415	113	7	1,997
R5 年度	13,221	204	166,000	31,358	249	327,347	98	8	1,263
比 較	587	26	11,507	3,895	40	72,068	15	△1	734
区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R6 年度	0	0	0	491	13	15,544	315	5	2,399
R5 年度	0	0	0	515	12	14,989	300	7	1,795
比 較	0	0	0	△24	1	555	15	△2	604
区 分	居宅訪問型児童発達支援事業								
	利用回数	実人員	金額(千円)						
R6 年度	17	2	301						
R5 年度	31	3	434						
比 較	△14	△1	△133						

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R6 年度	916	7	4,014	0	0	0
R5 年度	1,074	8	4,502	0	0	0
比 較	△158	△1	△488	0	0	0
区 分	日中一時支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R6 年度	3	1	11	43	1	538
R5 年度	22	1	40	45	1	565
比 較	△19	0	△29	△2	0	△27

・子ども発達支援センター事業 (延人数)

区 分	障がい児通所支援			相談支援事業	
	児童発達支援	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	障がい児相談支援	特定相談支援
R6 年度	3,976	72	2	1,074	45
R5 年度	3,218	62	15	1,048	55
比 較	758	10	△13	26	△10

区 分	地域支援事業							合 計
	センター 基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達支援教室	巡回発達相談	小児神経医による発達相談	北海道文教大学連携事業	
		1歳6ヵ月健診	3歳児健診					
R6 年度	120	30	33	77	36	24	48	5,537
R5 年度	110	30	41	119	34	47	40	4,819
比 較	10	0	△8	△42	2	△23	8	718

●自立支援事業の推進 (P. 84～93・104)

- ・ボランティア活動推進事業 市補助 1,000千円
- ・認知症高齢者対策事業 市補助 186千円
- ・民生・児童委員連絡協議会活動の促進 市補助 11,645千円
- ・障がい者就労支援事業の推進
農福連携による就労機会の提供
延参加者数 5,341人

- ・障がい者自立支援事業の推進
障がい者施設系サービス (自立支援給付)

区 分	居住系サービス		日中活動系サービス					合 計	
	施設入所 支援	共同生活援助 (グループホーム)	生活 介護	就労移行 支援	就労 継続A	就労 継続B	自立 訓練	実人員	金額(千円)
R6 年度	91	178	200	36	92	363	6	966	1,661,879
R5 年度	91	154	205	37	83	313	2	885	1,544,073
比 較	0	24	△5	△1	9	50	4	81	117,806

※人員は新体系の利用者で居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれ的人数に計上

※利用人員は、年度直近 (2月末現在)

- ・地域活動支援事業の実施

区 分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
R6 年度	1	1,979
R5 年度	1	2,244
比 較	0	△265

- ・在宅支援サービスの状況

1)身体障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			日中一時支援事業 (ケア型)			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R6 年度	6,221.0	32	35,403	0	0	0	298	5	5,396
R5 年度	4,775.8	30	24,281	0	0	0	133	6	3,918
比 較	1,445.2	2	11,122	0	0	0	165	△1	1,478

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R6 年度	648.5	21	3,520	808	27	6,881
R5 年度	896.5	18	4,928	973	26	7,906
比 較	△248.0	3	△1,408	△165	1	△1,025

3) 精神障がい者支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R6 年度	967.5	15	5,805	13	2	97
R5 年度	1076.0	15	5,968	31	2	162
比 較	△108.5	0	△163	△18	0	△65

区 分	就労継続 A			就労継続 B			就労移行		
	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R6 年度	6,098	47	46,030	21,275	168	183,644	1,440	15	14,563
R5 年度	7,106	45	58,235	18,783	138	145,101	884	15	9,225
比 較	△1,008	2	△12,205	2,492	30	38,543	556	0	5,338

4) 精神障がい者地域活動支援センター等通所交通費助成

区 分	通所施設数	実人員	助成日数
R6 年度	32	45	5,245
R5 年度	23	31	3,524
比 較	9	14	1,721

5) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R6 年度	1,185	40	4,271	321	11	568
R5 年度	1,143	41	4,030	372	16	496
比 較	42	△1	241	△51	△5	72

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度 心身	発達	高次 脳機能	難病等 その他	総計	障がいの 重複分	重複 除く計
R6 年度	相談実件数	177	572	717	13	188	6	105	1,778	215	1,563
	相談延件数	647	1,909	2,712	43	559	7	314	6,191	879	5,312
R5 年度	相談実件数	160	517	672	4	196	20	120	1,689	240	1,449
	相談延件数	485	1,610	2,891	9	475	78	305	5,853	657	5,196
比 較	相談実件数	17	55	45	9	△8	△14	△15	89	△25	114
	相談延件数	162	299	△179	34	84	△71	9	338	222	116

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日あたりの利用者数平均
福 住	2,184	293	7
和 光	10,663	293	36
大 町	5,634	293	19
柏 陽	8,825	293	30
恵み野	11,263	294	38
島 松	13,714	296	46
合 計	52,283	1,762	176

- ・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 340人（75歳以上） 1人1,235円
- ・老人健康ハイキング 22クラブ 248名参加
- ・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 28クラブ 1,424千円
- ・敬老祝品贈呈事業 100歳22人 計264千円
- ・福祉バスの運行 運行日数214日 利用者数6,358人
- ・高齢者健康増進事業

当該年度の1月1日時点において満75歳以上かつ、前年中に介護保険法に規定するサービス提供を受けていない方に対し、健康増進助成券を配布し、高齢者の健康維持を図りました。

交付対象者数7,970人 利用率68.7%（62,589枚/91,050枚）

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
R6年度	789	993
R5年度	774	1,003
比 較	15	△10

区 分	R 6 年 度		R 5 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,397	461,363	10,268	458,507	129	2,856
住宅扶助	10,521	213,667	10,548	212,826	△27	841
教育扶助	684	5,849	750	6,560	△66	△711
介護扶助	2,350	25,365	2,115	21,503	235	3,862
医療扶助	10,532	894,327	10,027	829,847	505	64,480
生業扶助	277	3,600	297	3,217	△20	383
葬祭扶助	11	3,450	11	3,247	0	203
出産扶助	0	0	1	497	△1	△497
施設事務費	4	608	0	0	4	608
就労自立給付金	10	538	14	293	△4	245
進学準備給付金	4	800	0	0	4	800
合 計	34,790	1,609,567	34,031	1,536,497	759	73,070

・ケアラー支援推進事業（P. 85）

1, 770千円

ケアラーについて理解し、今後必要とされるケアラー支援について深く学び、正しい理解を広めるために、「ヤングケアラー啓発講座」の開催や啓発活動を実施し、恵庭市全体でケアラーの知識を深めることができました。引き続き、ケアラー問題について市民が一体となり、様々な視点からケアラー支援について検討し、全てのケアラーとその周りの全ての人が自分らしくいきいきと安心して生活できる社会の実現を目指します。

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業（P. 73）

338千円

- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 1回（3月）

- ・パネル展示の実施

男女共同参画推進週間（6月 恵庭駅西口空中歩廊）

女性に対する暴力をなくす運動（11月 恵庭駅西口空中歩廊）

- ・男女共同参画フォーラムの開催（11月 恵庭市民会館 参加者：34名）

- ・啓発事業

パンフレット等の配布、Facebookを活用した周知活動

- ・キャッチフレーズ募集事業

市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、内閣府で募集するコンテストに応募すると共に、応募があったものを啓発に活用

- ・恵庭市男女共同参画推進協議会に係る事務支援

- ・役員会 3回参加

- ・定期総会に係る事務支援 参加者：25名参加

- ・講演会・事例発表会に係る事務支援 参加者：42名参加

●骨髄等提供ドナー支援の推進

・骨髄等提供ドナー支援制度調査及び普及事業（P. 109）

550千円

骨髄・末梢血幹細胞の提供となった市民を対象とした骨髄ドナー助成を実施しました。

また、より多くの人がドナー登録できるような環境づくりや骨髄等を提供しやすいドナー休暇制度および助成制度に関するセミナーを開催し、普及啓発などを行いました。

- ・令和6年度助成制度実績：申請件数 1件（支給額合計：180,000円）

- ・令和6年度普及啓発事業：11月17日（日）

骨髄等移植に関する普及啓発セミナーを開催

- ・映画上映 「みんな生きている～二つ目の誕生日～」

- ・主演者講演：樋口 大悟 氏

- ・場所：夢創館・イベントホール

- ・参加人数：約100名

●新型コロナウイルス感染症対策の推進

・住居確保給付金事業（P. 86）

345千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅に困窮する世帯に「住居確保給付金」による家賃補助を行うとともに、就労支援を行いました。

- ・支給世帯数 : 4世帯

- ・総支給額 : 345,000円

目標０８ 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●第２次健康づくり計画・第３次食育推進計画・自殺対策計画・第２期えにわっこ☆すこやかプランに基づく事業実施（P. 107・109・233～235）

・健康教育・健康相談事業の充実

区 分	健康増進事業		出前講座・授業 普及啓発		ノルディックウォーキング 講習会		Ｊリーグウォーキング		健康相談	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	参加数	回数	延人員
R6 年度	7	247	168	5,157	3	71	1	191	884	1,157
R5 年度	7	179	138	5,105	3	57	1	229	794	1,138
比 較	0	68	30	52	0	14	0	△38	90	19

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数	休憩所数	休憩所利用者数
R6 年度	2,361	26	3,404
R5 年度	2,291	25	3,330
比 較	70	1	74

・食育推進事業の実施

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R6 年度	2	38	1	55	3	4
R5 年度	2	24	1	45	2	4
比 較	0	14	0	10	1	0

・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

区 分	健口教室	
	回数	人数
R6 年度	4	102
R5 年度	4	92
比 較	0	10

・こころの健康づくり普及啓発

区 分	講演会		ゲートキーパー養成講座		出前講座		パネル等展示	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	日数
R6 年度	1	55	1	45	3	64	127	2,773
R5 年度	1	79	1	56	0	0	10	373
比 較	0	△24	0	△ 11	3	64	117	2,400

・こころの健康相談

区 分	電話相談/メール		来所相談		訪問		ひきこもり相談	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R6 年度	66	268	11	33	3	31	9	21
R5 年度	63	247	10	29	3	16	11	25
比 較	3	21	1	4	0	15	△2	△4

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	介護予防普及啓発事業								地域介護予防活動支援事業					
	講演会		高齢者健康づくり教室		老人クラブ健康教育		えにわウェルカム 75		百歳体操サポーター養成講座			サロン支援		
	回数	人 員	回数	延人員	回数	人 員	回数	人 員	回数	実人員	延人員	回数	延人員	
R6 年度	1	65	6	150	34	640	4	102	4	24	43	28	465	
R5 年度	2	220	6	174	30	524	6	143	6	33	60	23	357	
比 較	△1	△155	0	△24	4	116	△2	△41	△2	△9	△17	5	108	

区 分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		70 歳訪問		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R6 年度	5	28	0	0	286	312	50	65
R5 年度	2	24	2	6	297	297	18	43
比 較	3	4	△2	△6	△11	15	32	22

●予防接種・健康診査・がん検診の推進

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R6 年度	27	0	0	0
R5 年度	30	0	0	0
比 較	△3	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG 接種	五種混合	四種混合	不活化ポリオ	二種混合 11～13 歳未満	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
R6 年度	375	904	641	1	448	0	0	803	566
R5 年度	367		1,614	1	431	0	0	930	1,501
比 較	8		△973	0	17	0	0	△127	△935

区 分	小児用肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B 型肝炎	ロタウイルス (ロタテック)	ロタウイルス (ロタリックス)
R6 年度	1,484	1,614	717	1,877	1,076	755	224
R5 年度	1,491	595	840	1,950	1,073	715	220
比 較	△7	1,019	△123	△73	3	40	4

区 分	インフルエンザ	新型コロナ ウイルス	肺炎球菌 (定期)	風しんの追加的対策	
				抗体検査	予防接種
R6 年度	9,466	2,480	167	34	14
R5 年度	10,256		740	214	30
比 較	△790		△573	△180	△16

○子宮頸がんは国の通知に基づき、R4.4より受診勧奨再開及びキャッチアップ接種開始

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		特定保健指導		訪問指導	肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	積極的	動機付け	40～64 歳	受診者数	C型陽性	B型陽性
R6 年度	30	5	21	133	24	424	0	3
R5 年度	41	0	27	139	17	367	0	4
比 較	△11	5	△6	△6	7	57	0	△1

区 分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん検診（読影）			肺がん検診（喀痰）	
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精密 検査者数
R6 年度	1,521	147	1	2,332	189	1	2,166	61	0	46	0
R5 年度	1,631	122	2	2,276	139	2	2,003	55	2	41	0
比 較	△110	25	△1	56	50	△1	163	6	△2	5	0

区 分	子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R6 年度	853	11	0	1,043	35	1
R5 年度	991	25	0	1,117	36	4
比 較	△138	△14	0	△74	△1	△3

○「要精検」「発見がん」の件数については、令和5年度は実績値、令和6年度は令和7年5月末現在
○子宮がん検診は、頸部・体部
※がん検診推進事業分含む

・歯科保健事業の充実

区 分	乳幼児歯科健診（人）			成人歯科検診		歯周疾患検診					う歯予防
	1歳 6か月	乳歯 健診	3歳児	回数	受診数	受診数	妊婦	節目	要指導数	要精検 者数	フッ素 塗布者数
R6 年度	386	71	472	1	57	282	98	184	91	140	460
R5 年度	450	41	498	1	25	269	84	185	54	166	381
比較	△64	30	△26	0	32	13	14	△1	37	△26	79

・妊産婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査				産婦健康診査	
	受診人数	助成回数	一般健診	超音波検査	受診人数	助成回数
R6 年度	606	6,545	4,443	2,102	386	624
R5 年度	586	6,074	4,099	1,975	349	548
比 較	20	471	344	127	37	76

・不妊治療費等の助成

区 分	助成延数
R6 年度	29
R5 年度	9
比 較	20

・低所得妊婦初回産科受診の助成

区 分	助成延数
R6 年度	1
R5 年度	1
比 較	0

・産後ケア事業

区 分	宿泊型		日帰り型（R6 新規）		訪問型（R6 新規）	
	実人数	宿泊数	実人数	延回数	実人数	延回数
R6 年度	11	29	35	135	10	20
R5 年度	6	16	－	－	－	－
比 較	5	13	35	135	10	20

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マニティマークストラップ）

区 分	配布数
R6 年度	378
R5 年度	375
比 較	3

・妊産婦健康診査通院費の助成

区分	交付数	助成回数
R6 年度	372	4,783
R5 年度	300	3,827
比 較	72	956

・えにわっこ応援センター母子保健（来所・電話相談）

区 分	相談件数		
	来所	電話	計
R6 年度	134	130	264
R5 年度	104	113	217
比 較	30	17	47

・伴走型（妊娠期・産後期相談）支援

区 分	妊娠期			産後期	乳児期	幼児期
	妊娠届時	妊娠後期	プレママ相談			
R6 年度	425	14	17	360	0	0
R5 年度	414	0	17	341	392	41
比 較	11	14	0	19	△392	△41

・母子保健指導

区 分	乳児家庭 全戸訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		妊婦教室		両親教室	
	訪問 世帯数	実数	延 世帯数	回数	人数	回数	人数	回数	人数 (組)
R6 年度	360	45	85	12	290	8	34	4	63
R5 年度	347	62	134	12	187	8	56	3	55
比 較	13	△17	△49	0	103	0	△22	1	8

区 分	育児教室		子育て講話		5歳児相談	
	回数	人数 (組)	回数	人数	回数	人数
R6 年度	6	57	5	57	4	21
R5 年度	6	68	10	177	4	28
比 較	0	△11	△5	△120	0	△7

・乳幼児健康診査事業等の実施

(乳児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察
R6 年度	734	24	193
R5 年度	761	29	162
比 較	△27	△5	31

(先天性股関節脱臼検診)

区 分	受診者数	有所見	要治療
R6 年度	349	6	1
R5 年度	328	5	1
比 較	21	1	0

(新生児聴覚検査)

区 分	受診者数	要精検
R6 年度	360	1
R5 年度	338	5
比 較	22	△4

(1か月児健診) ※ R 6 新規

区 分	受診者数	要支援	要治療
R6 年度	279	2	6
R5 年度	-	-	-
比 較	279	2	6

(1歳6か月児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R6 年度	386	3	122	386
R5 年度	450	7	129	450
比 較	△64	△4	△7	△64

(3歳児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R6 年度	473	76	133	472
R5 年度	498	77	130	498
比 較	△25	△1	3	△26

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 194～195・209～210)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	2,761	29,661	187	2,969	2,948	32,630
R5 年度	2,630	26,954	173	2,755	2,803	29,709
比 較	131	2,707	14	214	145	2,921

(後期高齢者医療健康診査・脳ドック・歯科健診の状況)

区 分	健康診査		脳ドック		歯科健診		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	1,548	17,299	126	2,012	183	841	1,857	20,152
R5 年度	1,413	15,765	132	2,106	180	827	1,725	18,698
比 較	135	1,534	△6	△94	3	14	132	1,454

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため国民健康保険の保健事業、介護予防事業と一体的に高齢者の保健事業に取り組みました。

・ハイリスクの高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）

区 分	生活習慣病重症化予防		低栄養・フレイル予防		健康状態不明者家庭訪問	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R6 年度	85	112	57	69	27	37
R5 年度	35	39	65	67	15	15
比 較	50	73	△8	2	12	22

・通いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

前年度に引き続き、

- ① 保健師や栄養士、歯科衛生士によるフレイル・低栄養・オーラルフレイル予防に関する講話
- ② フレイル予防を目的とした高齢者健康づくり教室（プレミアム健康度チェック）
- ③ 年度内に75歳に到達する人を対象に、後期高齢者医療制度の説明やフレイル予防を目的とした健康講話、身体測定等を行う「えにわウェルカム75」事業を実施しました。

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 113)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大会名	開催日	会場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	10月5日	はなふる、漁川河川敷	596
少年少女ミニバレー大会	12月8日	総合体育館	111
恵庭クロスカントリースキー大会	雪不足のため中止		
市民スポーツ大会 (15大会)	通年	市内体育施設他	2,352
合計	-	-	3,059

・各種スポーツ機会の提供 (P. 113)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事業名	期間/回数	会場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通年 48回	総合体育館	1,594
各種スポーツ実技指導※	通年 314回	総合体育館他	9,485
スポーツ少年団スポーツテスト会	8月6日・1月25日	総合体育館	318
合計	-	-	11,397

※指定管理者委託事業

・スポーツ団体の育成・強化 (P. 114)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況

(単位：団体、人)

区分	スポーツ協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R6年度	22	1,886	32	1,078
R5年度	22	1,853	32	1,009
比較	0	33	0	69

2) スポーツ振興基金運用事業 (大会出場者/団体への補助金)

(単位：人、団体)

区分	対象者		種目
	個人	団体	
国際大会	1	0	スキー
全国大会	19	33	卓球、野球、陸上、新体操、バドミントン、空手、その他
高校総体	3	5	陸上、体操、柔道、空手、水泳、卓球
高校選抜	1	1	ラグビー、フットボール
国民体育大会	9	2	卓球、バレー、ソフトボール、軟式野球、空手、その他
全道大会	1	39	卓球、軟式野球、フットサル、バドミントン、陸上、その他
合計	34	80	

・屋内体育施設の整備充実 (P. 114～115)

1) 屋内体育施設の維持補修事業

3,127千円

- ・総合体育館弓道場安土補修工事
- ・総合体育館消火栓ホース交換
- ・総合体育館構内柱気中開閉器更新工事
- ・福祉屋内運動広場誘導灯更新
- ・島松体育館遠赤外線放射暖房機修理

- ・総合体育館スタッキングチェア更新事業

2) 学校開放事業の利用状況 (単位：団体、人)

区 分	R6 年度	R5 年度	比 較
利用団体数	123	129	△6
利用者数	38,349	45,142	△6,793

3) 屋内スポーツ施設等利用状況 (単位：人)

区 分	R6 年度		R5 年度		比 較
	個 人	団 体	個 人	団 体	
総合体育館	93,632	50,170	77,778	60,492	5,532
島松体育館	9,919	26,297	9,454	30,002	△3,240
福住屋内運動広場	3,192	19,596	3,265	16,593	2,930
合 計	202,806		197,584		5,222

※団体の利用状況に大会を含む

・屋外体育施設の整備充実 (P.114～115)

1) 屋外体育施設の維持補修事業 64,784千円

- ・恵庭公園陸上競技場改修関連委託及び工事
- ・島松水泳プール改修関連委託
- ・恵庭公園野球場散水栓取替工事
- ・島松屋外運動場管理棟配管取替工事
- ・パークゴルフ場芝刈機整備
- ・市民スキー場圧雪車修繕

2) 市民水泳プール利用状況 (単位：人)

区 分	R6 年度	R5 年度	比 較
恵庭水泳プール	5,644	5,919	△275
島松水泳プール	0	4,283	△4,283
和光水泳プール	6,984	8,095	△1,111
若草水泳プール	6,219	6,945	△726
恵み野水泳プール(恵み野旭小)	5,526	6,476	△950
合 計	24,373	31,718	△7,345

3) 恵庭南高校水泳プール利用状況

区 分	R6 年度	R5 年度	比 較
利用者数	155	138	17

4) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	R6 年度	R5 年度	比 較
恵庭公園野球場	11,750	11,018	732
恵み野中央公園野球場	5,642	7,073	△1,431
かしわ公園野球場	2,644	2,645	△1
恵庭公園庭球場	8,443	10,488	△2,045
恵み野中央公園庭球場	6,610	8,536	△1,926
中島公園庭球場	8,551	10,216	△1,665
ふるさと公園庭球場	1,023	1,272	△249
めぐみの森公園庭球場	114	73	41
あやめ緑地公園庭球場	117	270	△153
恵庭公園陸上グラウンド	4,750	7,882	△3,132
恵庭公園球技場	19,350	8,858	10,492
島松屋外運動場	8,258	5,916	2,342
市民スケート場(夏期)	2,210	3,096	△886
市民スキー場(夏期)	338	0	338
市民スケート場(冬期)	7,327	7,317	10
市民スキー場(冬期)	4,298	10,387	△6,089
島松スケート場(冬期)	5,858	3,743	2,115
恵庭中央パークゴルフ場	20,002	17,472	2,530
漁川カワセミパークゴルフ場	6,732	6,824	△92
漁川アイリスパークゴルフ場	5,164	4,640	524
島松パークゴルフ場	2,281	3,035	△754
北栄会館パークゴルフ場	344	395	△51
合 計	131,806	131,156	650

目標 09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持（P. 107～108）

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R6 年度	66	549	50	188	359	877	1,614
R5 年度	67	749	50	212	360	966	1,927
比 較	△1	△200	0	△24	△1	△89	△313

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所 1 か所、救急告示病院 3 か所、消防署 1 か所

●地域包括ケアシステムの発展（P. 86・229～230・235～237）

・高齢者の状況

区 分	令和 7 年 3 月末	令和 6 年 3 月末
総 人 口	70,125 人	70,023 人
高齢者数	20,227 人	20,111 人
高齢化率	28.8 %	28.7 %

・審査会の状況

区 分	R6 年度	R5 年度
審査会回数	58 回	63 回
審査件数	2,318	2,772
審査件数/回	40 件	44 件

・要介護認定等の状況（第 1 号被保険者）

認定者数（令和 7 年 3 月末）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	689	547	799	530	321	334	204	3,424

・介護保険サービスの利用状況（第 1 号被保険者）

居宅サービス受給者数（令和 7 年 3 月審査分）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	316	344	566	400	160	133	60	1,979

施設サービス受給者数（令和 7 年 3 月審査分）

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	計
人 数	99	211	15	325

地域密着型サービス受給者数（令和 7 年 3 月審査分）

区 分	地域密着型サービス
人 数	580

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割 合	所得段階	保険料（円）	被保険者数	割 合
第1段階	11,500	3,623	18.1	第8段階	86,400	1,432	7.2
第2段階	17,200	1,999	10.0	第9段階	100,800	571	2.9
第3段階	31,600	1,586	7.9	第10段階	106,500	243	1.2
第4段階	48,900	2,124	10.6	第11段階	120,900	79	0.4
第5段階	57,600	2,586	12.9	第12段階	132,400	52	0.3
第6段階	72,000	2,019	10.1	第13段階	138,200	197	1.0
第7段階	74,800	3,474	17.4	計		19,985	100

・保険料の収納状況

	R6 年度	R5 年度
収納率	99.80%	99.86%

・保険料の減免状況

人数	減免額
4	51,700 円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置（利用者負担のうち1／4を軽減）

対象者数 62人 経費 1,628千円

・高齢者相談支援事業

区 分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	715	887

・地域包括支援センターの設置

（高齢者相談事業）

区 分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者（一般）	252	1,135	264	1,028	172	859	208	1,014	896	4,036
総合事業対象者	52	624	61	460	37	625	17	245	167	1,954
要支援者	310	3,590	302	3,442	171	2,670	216	4,749	999	14,451
要介護者	67	623	57	373	27	306	66	417	217	1,719
障がい者	7	27	3	6	0	0	0	0	10	33
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	689	6,000	687	5,309	407	4,460	507	6,425	2,290	22,194

（指定介護予防支援事業）

区 分	みなみ包括	ひがし包括	きた包括	中島・恵み野包括	計
要支援認定者（契約者） 介護予防支援数（実人数）	208	243	145	152	748
要支援認定者（契約者） 介護予防支援数（延人数）	3,087	3,172	2,440	4,391	13,090
予防給付請求件数	1,857	3,280	2,417	2,016	9,570

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用数
配食サービス事業	205 人	35,819 食
外出支援サービス事業	141 人	2,635 回
訪問理美容サービス事業	33 人	104 回
除雪サービス事業	474 世帯	8,094 回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数 212 台
- ・訪問サービス事業 廃止
- ・有償サービス事業（なんもだよ） 利用者数 76 人 利用回数 227 回

・地域支援事業（任意事業）の実施

事業名	実施概要
家族介護者交流事業	合同交流：開催回数4回 参加者数62人 随時交流：12回 参加者数62人
認知症地域支援普及事業	認知症サポーター養成講座 開催回数：15回、受講人数：761人
介護支援専門員支援事業	利用件数 38件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 5件 市長申立2件

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成（P.93）

（受給者数）

区分	身障者	3級外部	知的障がい者	精神障がい者	合計
R6年度	1,009	242	189	21	1,461
R5年度	1,038	250	184	20	1,492
比較	△29	△8	5	1	△31

（助成金額） 道補助対象分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6年度	1,320	24,031	25,003	62,799	26,323	86,830
R5年度	1,326	23,711	25,315	61,583	26,641	85,294
比較	△6	320	△312	1,216	△318	1,536

（助成金額） 市単独分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6年度	253	4,667	4,838	8,310	5,091	12,977
R5年度	292	5,555	5,074	9,034	5,366	14,589
比較	△39	△888	△236	△724	△275	△1,612

(助成金額) 合計

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	1,573	28,698	29,841	71,109	31,414	99,807
R5 年度	1,618	29,266	30,389	70,617	32,007	99,883
比 較	△45	△568	△548	492	△593	△76

・子ども医療費の助成 (P. 96)

(受給者数)

区 分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	合 計
R6 年度	1,079	1,747	3,059	45	5,930
R5 年度	1,174	1,830	3,056	31	6,091
比 較	△95	△83	3	14	△161

※R4 より小学 4～6 年生の通院助成を開始

(助成金額)

区 分	入院 (未就学児)		入院外 (未就学児)		入院 (小学生)		通院 (小学生)	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	446	16,962	54,959	67,814	64	2,090	41,555	52,907
うち道補助対象分	446	14,835	54,959	52,549	64	2,090	—	—
うち市単独分(一部)	(81)	2,127	(27,199)	15,265	—	—	—	—
うち市単独分(全部)	—	—	—	—	—	—	41,555	52,907
R5 年度	509	20,299	59,378	81,738	70	2,633	20,262	50,270
比 較	△63	△3,337	△4,419	△13,924	△6	△543	21,293	2,637

区 分	入院 (中学生)		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	23	890	97,047	140,663
うち道補助対象分	—	—	55,469	69,474
うち市単独分(一部)	—	—	(27,280)	17,392
うち市単独分(全部)	23	890	41,578	53,797
R5 年度	22	704	80,241	155,644
比 較	1	186	16,806	△14,981

※R4 より小学 4～6 年生の通院助成を開始

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数 (人)			件数 (件)			助成金額 (千円)		
	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計
R6 年度	37	29	66	56	51	107	5,447	1,040	6,487
R5 年度	14	14	28	32	31	63	3,101	799	3,900
比 較	23	15	38	24	20	44	2,346	241	2,587

・ひとり親家庭等医療費の助成（P. 95～96）

（受給者数）

区 分	親	子	計
R6 年度	744	1, 112	1, 856
R5 年度	749	1, 118	1, 867
比 較	△5	△6	△11

（助成金額）

〔親〕（道補助対象分）（市単独分）

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	42	1, 693	10, 418	22, 528	10, 460	24, 221
R5 年度	55	1, 876	10, 221	20, 652	10, 276	22, 528
比 較	△ 13	△ 183	197	1, 876	184	1, 693

〔子〕（道補助対象分）（市一部負担分含む）

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	46	2, 471	11, 765	19, 653	11, 811	22, 124
R5 年度	40	1, 543	11, 977	20, 412	12, 017	21, 955
比 較	6	928	△212	△759	△206	169

〔合計〕

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R6 年度	88	4, 164	22, 183	42, 181	22, 271	46, 345
R5 年度	95	3, 419	22, 198	41, 064	22, 293	44, 483
比 較	△7	745	△15	1, 117	△22	1, 862

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

（加入状況）

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R6 年度	7, 868	21. 77	11, 125	15. 86
R5 年度	7, 940	22. 37	11, 476	16. 39
比 較	△72	△0. 60	△351	△0. 53

（収支状況）

区 分	歳入総額（千円）	歳出総額（千円）	差引（千円）
R6 年度	6, 418, 816	6, 381, 006	37, 810
R5 年度	6, 657, 569	6, 589, 894	67, 675
比 較	△238, 753	△208, 888	△29, 865
増加率%	△3. 59	△3. 17	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1 件当り (円)	1 人当り (円)
R6 年度	122,614	1,102.15	4,075,175	33,236	366,308
R5 年度	126,598	1,103.15	4,226,039	33,382	368,250
比 較	△3,984	△1.00	△150,864	△146	△1,942
増加率%	△3.15		△3.57	△0.44	△0.53

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
R6 年度	10,951	15.56
R5 年度	10,533	14.99
比 較	418	0.57

(収支状況)

区分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R6 年度	1,253,253	1,230,724	22,529
R5 年度	1,150,693	1,131,154	19,539
比 較	102,560	99,570	2,990
増加率%	8.91	8.80	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標１０ いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ（職種や就業形態）を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を実施しました。

●企業誘致活動の実施

民間が所有する工業団地内の未操業地や工業団地外の空きテナント等について、仲介・斡旋を継続的に行うことなどの誘致活動を進めた結果、６社（新規立地６社）の立地が決定しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業（P.120）

３，７５８千円

求職者の就職支援を目的とした合同企業説明会を実施しました。また、企業採用担当者向けに主婦層、シニア層の活用・採用方法や活用事例等について学べるセミナーを開催し、市内企業の人手不足に対する支援を行いました。さらに、市内に住む労働者の他市町村への労働力流出を防ぐことを目的に、広報媒体による市内企業の働く場としての魅力発信を行いました。

１．就職促進事業

（１）合同企業就職説明会（パート・アルバイト向け） １１月２８、２９日

参加者１０２名 参加企業３５社

（２）合同企業就職説明会（正社員向け） １１月２８、２９日

参加者７３名 参加企業４０社

上記（１）、（２）による就職決定者４０名

２．採用力向上支援事業

企業採用担当者向けセミナー １０月２５日

受講企業５９社

３．企業情報発信事業

広報媒体による周知

掲載企業６４社、求人雑誌・情報発信WEBサイトへの掲載

・求職・労働相談（P.120）

６６１千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室を運営することで求人情報の把握や市民に対する求人情報の発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の冬期間の生活安定を図ることを目的として通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭（ふるさとハローワーク）				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R6 年度	2,847	517	851	272	16	2
R5 年度	3,129	566	889	280	15	5
比 較	△282	△49	△38	△8	1	△3

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	15 社	22 社	2 人	2 人
②事業所向け経営支援講習事業	70 社	104 社	5 人	3 人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	415 社	404 社	11 人	14 人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブック Web 版掲載）	1,097 社	965 社	10 人	12 人
⑤事業所向け調査研究事業	1,070 社	964 社	—	—
⑥事業所向けドローン関連業務委託事業	30 社	35 社	2 人	0 人
⑦通年雇用化支援講習業務委託事業	25 人	31 人	1 人	2 人
⑧建設技能資格取得業務委託事業	17 人	15 人	2 人	4 人
⑨施設管理技能資格取得業務委託事業	6 人	3 人	1 人	0 人
⑩介護関連資格取得業務委託事業	4 人	1 人	1 人	0 人
⑪季節労働者向けドローン関連業務委託事業	30 人	27 人	1 人	0 人
⑫商業・サービス業技能講習事業	36 人	35 人	1 人	1 人
⑬合同企業就職説明会事業	21 人	32 人	2 人	0 人
⑭季節労働者通年雇用化情報提供事業	900 人	1,250 人	8 人	2 人
⑮季節労働者資格取得支援事業	6 人	5 人	1 人	0 人
⑯季節労働者調査研究事業	900 人	686 人	—	—
⑰建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	12 人	10 人	1 人	0 人
⑱季節労働者相談事業	50 人	85 人	1 人	0 人
合 計	4,704 件	4,674 件	50 人	40 人
目標達成率	99.4%		80.0%	

・シルバー人材センター事業支援（P.120）

11,534千円

高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年 度	公 共 事 業		そ の 他		合 計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R6 年度	284	88,388	2,476	152,207	2,760	240,595
R5 年度	316	95,636	2,599	148,949	2,915	244,585
比 較	△32	△7,248	△123	3,258	△155	△3,990

目標 1 1 恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備や排水路および関連施設の適切な維持管理を行い、地域共同の取組による環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業（P. 125）7, 585 千円
排水路床ざらい、維持補修工事
- ・道営水利施設等保全高度化事業（P. 127）149 千円
道営土地改良事業計画樹立費負担金（中島松排水機場）
- ・事業農業水路等長寿命化・防災減災事業（P. 127）12, 718 千円
排水路改修工事（基線）
蓄電池交換・排水機場主原動機部品等交換（西4線排水機場）
- ・内水排除施設管理事業（P. 125）29, 562 千円
排水機場管理事業（北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場）
釜加地区内水排水機場管理費負担金（南21号・南18号排水機場）
- ・水利施設整備事業（P. 126）10, 118 千円
排水機場施設整備事業（北島排水機場 NO. 2 蓄電池交換・漁太排水機場真空ポンプ分解整備ほか）
- ・国営かんがい排水事業（P. 126）8, 939 千円
国営土地改良事業地元負担金（北島地区）
- ・多面的機能支払交付金事業（P. 126）100, 287 千円
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・国営造成施設（揚水機場）管理事業（P. 126）48, 363 千円
揚水機場管理事業（千歳川第1・第2揚水機場）

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上や新たな担い手の育成などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を支援し、子どもが木に親しみを持てる土壌づくりを推進しました。

- ・木育ファーストトイ事業（P. 122）5, 423 千円
乳幼児に地域の木材を使用したドーナツ型の木のおもちゃ（森の輪）と積み木を配布
配布実績 386 人
- ・農業後継者対策費（P. 122）1, 425 千円
農業研修派遣事業 実績 20 件（青年農業者道外研修 4 名、女性農業者道内研修 16 名）
農業次世代投資資金（経営開始型）事業 実績 1 件（夫婦 1 組）

- ・ 農業者支援資金利子補給事業 (P. 123) 2 4 8 千円
 スーパーL資金に係る利子補給 (9件)

- ・ 農業振興対策事業 (P. 123) 1 6 8, 2 8 2 千円
 簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ (1件 事業面積915a)、
 ジャガイモシストセンチュウ対策 (10件 作付面積3,020a)、
 経営所得安定対策推進事業、外国人技能実習生受入サポート事業 (3件)、
 スマート農業推進事業 (30件)、農地利用効率化等支援事業 (1件)、
 農業振興イベント支援事業 (1件)、施設園芸生産基盤緊急支援事業 (6件)、
 持続的畑作生産体系確立緊急対策事業 (4件)、土地改良区決済金等支援事業 (55件)

- ・ 環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 123) 2, 3 7 0 千円
 環境保全型農業への取り組み支援 (8件 対象面積4,619a)

- ・ 農業活性化支援センター防水等改修事業 (P. 123) 3 0, 8 1 2 千円
 農業活性化支援センター屋上防水改修工事・空調設備改修工事

- ・ 畜産振興事業 (P. 124) 2, 3 8 0 千円
 酪農経営改善事業 (11件)、家畜自衛防疫事業 (25件、消毒回数6回)、
 酪農ヘルパー推進事業 (10件)

- ・ 市営牧場管理事業 (P. 124) 1 8, 6 4 5 千円
 酪農事業の発展および飼料基盤確保のため、若牛の集団育成を実施
 (運営期間: 5月20日～10月18日 受入頭数: 176頭)

●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

- ・ 恵庭市農商工等連携推進ネットワーク (P. 128)
 市内の企業・団体等が参画して設立した「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」の活動に加え、
 友好都市協定を結んだ藤枝市と設立した連携推進ネットワークにより、それぞれの特徴を生かした産
 業振興や農畜産物の販路開拓に取り組みました。
 会員数 1 1 4 会員
 - (1) 交流促進事業
 - ・ 定期総会 (書面開催) 6月2日～9月2日 回答数55人
 - ・ 勉強会・相談会 3月10日 参加者32人
 - (2) 販路拡大事業
 - 北海道産品取引商談会 (東京会場・大阪会場) 出展者各1者
 - (3) 情報発信事業
 - メールニュース34回
 - 農商工等連携商品を掲載したパンフレット「えにわづくり」を作成し、アンテナショップ
 Enimarche (エニマルシェ) や観光協会などに配架することや、市内外イベントで配布
 することで、会員商品のPR及び認知度向上を図りました。
 - (4) 新商品開発支援事業
 - 新商品数17品 (市内連携商品15品、藤枝市内連携商品2品)
 - 勉強会において、商品開発や販路拡大を目的とした食の専門家との個別商談会を実施
 個別商談会 参加者13者

(5) 藤枝市との連携事業

・事業者間の交流（産業祭への出展）

ふじえだ産業祭（10月26、27日）恵庭市から1者

えにわん産業祭2024UNITE（9月7日）藤枝市から2者

・商品開発補助金（両市の農畜産物を活用した商品開発への補助金）

補助金交付件数 0件

・試作支援（両市の農畜産物を活用した新商品創出に向けた研究・開発に係る試作用の材料費等の支援）

恵庭市 3者3商品の新商品開発

藤枝市 2者3商品の新商品開発

・えにわん産業祭2024UNITE

産業祭では、地元の農畜産物や市内の食品加工製造業の展示・販売を通じて恵庭の魅力をPRし、藤枝市からも事業者が出展し、交流及び情報交換を実施しました。

主な出展コーナー

【市内企業団体の出展・特産品販売】【ワークショップストリート】【はたらく車大集合】

【はなふるフードマーケット】【パン・スイーツマルシェ】

開催日：9月7日

来場者数約10,000人 出展企業・団体数42

目標１２ 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業（P. 128）

1, 426千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

商店街活力再生促進事業補助金

- ・恵み野商店会：恵み野商店街活力再生促進事業
- ・恵み野やすらぎストリート：やすらぎストリートであ・そ・ぼ！！事業
- ・花さんぽストリート：恵み野花さんぽストリートにぎわい創出環境整備事業
- ・恵み野ふれあいストリート：恵み野ふれあいストリートにぎわい創出環境整備事業
- ・恵庭駅通商店街振興組合：駅まちプラザ内にフリーWi-Fiを設置するにぎわい創出事業
- ・恵庭飲食店組合：ぷらっとラリー事業

・起業家支援事業（P. 127～128）

10, 034千円

市内で新たに开店する事業者に対する新規开店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや、専門家による個別相談会を開催しました。

●中小企業経営改善実態調査

中小企業が抱える課題を明確にし、その調査結果に基づき、関係機関との連携を通じて経営支援、創業支援および雇用対策支援を推進することで、さらなる中小企業振興を図るため、中小企業経営改善実態調査を実施しました。

- ・発送件数：1, 719件
- ・有効発送件数：1, 665件
- ・回収件数：426件（回収率25.6%）

●金融対策事業（P. 129）

4, 418千円

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている事業者に対し、事業継続のための円滑な資金繰りを支援するため、融資に係る利子の補給を行いました。

- ・新規利子補給：10件335千円
- ・中小企業振興融資預託金：2, 800千円

●えにわ応援商品券事業（P. 74）

24, 029千円

光熱費・物価高騰に対する支援として、全市民を対象に最大2, 400円分利用できる商品券を配布しました。（令和5年度からの繰越事業）

- ・登録店舗数 361店舗
- ・商品券使用額 156, 949, 800円

●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業 (P.131)

389千円

市民や各団体が垣根を越えて協力し、多くの人々が楽しく、幸せになる恵庭らしいマルシェを開催することにより、まちの活性化、市内経済の振興を図りました。令和6年度は新たな取り組みとして、POP UPストアとしての常設型マルシェを実施しました。

・えにわマルシェ本開催 (夏)

会 場 : 緑と語らいの広場 えにあす・グリーンベルト
開催日 : 8月11日
来場者数 : 3,076人
出店数 : 27店舗

・えにわマルシェ本開催 (冬)

会 場 : 花の拠点 (はなふる)
開催日 : 2月1日
来場者数 : 327人
出店数 : 14店舗

・プチマルシェ

- ①会 場 : 道と川の駅「花ロードえにわ」
開催日 : 5月3日～10月27日 (計58日間)
出店数 : 延132店
- ②会 場 : フレスポ恵み野
開催日 : 12月15日・2月23日 (計2日間)
出店数 : 延12店舗

・出前マルシェ (花とくらし展)

会 場 : 花の拠点 (はなふる)
開催日 : 6月29日～6月30日 (2日間)
出店数 : 延8店舗

・出張マルシェ

- ①会 場 : 花の拠点 (はなふる)
開催日 : 10月26日
出店数 : 9店
- ②会 場 : 旧まなび館 ※常設型マルシェ
開催日 : 11月30日～12月8日 (9日間)
出店数 : 28店
- ③会 場 : 花の拠点 (はなふる) ※常設型マルシェ
開催日 : 3月25日～4月5日 (9日間)
出店数 : 17店

目標１３ 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取り組みを推進するため、施設の適正管理や各種事業を実施しました。また、観光情報誌やWEBサイト、SNS等において情報発信を行ったほか、ツーリズムEXPOに出展するなど魅力の発信に努めました。

花の拠点（はなふる）では、市民や事業者による各種イベントが開催されるよう支援を行い、恵庭溪谷では独自イベント等各種事業の企画・実施を行い、観光入込客数の増加に努めました。

- ・緑のふるさと森林公園クイズラリーイベント（GW及び土日、実績１８３件）
- ・緑のふるさと森林公園木のメダル工作体験（夏休み期間及び秋季日曜日、実績３４件）
- ・緑のふるさと森林公園森のスツール製作体験（７月２７日・２８日、実績１２件）
- ・緑のふるさと森林公園ふれあい乗馬体験（８月２５日、実績１３０件）
- ・恵庭溪谷周遊バス運行（１０月１９日・２０日、実績９９人）
- ・観光パンフレット「旅するえにわ」改訂・増刷（日本語版９，５００部、英語版３，０００部）
- ・観光情報誌広告出稿（北海道じゃらん２０２４年５月号、機内誌PEACH LIVE ６月号、フリーペーパーソトイクゾー秋号、JPO1秋特別号）
- ・PRブース出展（６月１１日・１２日エスコンフィールド北海道、９月３日札幌駅どさんこプラザ、９月１０日大通BISSSE、９月２７日・２８日ツーリズムEXPO、１０月２６日・２７日藤枝産業祭）
- ・令和６年度観光入込客数１，８１９，０７３人

・恵庭花のまちづくり推進会議事業（P.132）

６，３５４千円

平成３０年に策定した新・花のまちづくりプランでは「美しいまちで暮らそう」を目標としました。「美しい環境がある」「美しい人々がいる」の２つのテーマのもと市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を生かした環境作りに取り組みました。

- （１）ガーデンフェスタ恵庭２０２４ 第３５回恵庭花と暮らし展
- （２）花マップの配布
- （３）花と緑のまちづくり講演会
- （４）YouTube動画作成、はなふるPR動画編集

・花と緑の記念日事業（P.133）

４３６千円

恵庭市をメイン会場として開催したガーデンフェスタを、一過性のイベントで終わらせるのではなく、花のまちづくりを継続していくために「ガーデンフェスタその後検討懇談会」を開催しました。

ガーデンフェスタに関わった皆さまに参加いただき、今後も遺したいものや新たに実施したいものなどについての提言をいただきました。それら提言について取り組むガーデンフェスタ記念事業を実施し、改めて「恵庭市の花のまちづくり」のPRに努めました。

- （１）ガーデンフェスタ恵庭２０２４ 第３５回恵庭花と暮らし展
６月２９日、３０日の２日間の開催。合計２万５千人を超える方々が来場。
- （２）フラワーギフトキャンペーンの実施 ７月１日～７月１５日
市内のフラワーショップ協力のもと、花を購入した方にキャンペーンを実施。
- （３）花種の配布
花と暮らし展においてフラワーギフトキャンペーンチラシと共に花種を配布。
- （４）ガーデナー講習会（お庭の学校） ７月７日、７月８日
花の拠点（はなふる）を設計した高野ランドスケープの村田氏と、７つのガーデンを設計したガーデナーによる講習会を開催。

・花の拠点整備事業（P.132）

301千円

- ・花の拠点放送設備設置工事
- ・花の拠点雨水桝仕切鋼板撤去工事

・花の拠点運営事業（P.132）

160,460千円

指定管理者や花の拠点事業者との連携のもと、一層の誘客促進と利用者満足度向上に取り組みました。花の拠点内では大小さまざまなイベントが開催されたほか、キッチンカーの出店やRVパーク、えにわファミリーガーデンりりあ、暮らしを恵む庭集会施設の利用者数が増加しており、多くのにぎわいを見せました。

- ・各施設入込数 花ロードえにわ 1,126,260人
農畜産物直売所 417,161人
センターハウス 241,354人
- ・イベント開催数 40回

花の拠点運営関連歳入決算

（単位：円）

歳入科目	決算額
土地使用料（道と川の駅）	15,608
公園使用料（道と川の駅）	24,911,298
公園使用料（農産物直売所）	28,400,000
公園使用料（宿泊施設）	3,679,504
公園使用料（魅力向上事業エリア）	3,120,374
公園使用料（都市・地域再生等利用区域）	1,311
土地建物貸付収入	232,074
合計	60,360,169

・市内消費拡大事業（P.130）

3,338千円

花の拠点（はなふる）を中心に市内の飲食店や観光スポットを訪れていただくことを目的とした市内周遊プラン「はなたび恵庭」や恵庭市観光デジタルマップ「はなたびマップ」のPRを実施したほか、はなふる内宿泊施設から市内飲食店等への移動に使用できるタクシー利用券「はなたびタクシー利用券」を発行し、宿泊施設利用者の市内周遊促進・消費促進を図りました。

- ・「はなたびマップ」閲覧回数 11,717回（はなたびマップ内のスポット閲覧数）
- ・「はなたび恵庭」Instagram広告インプレッション（表示）回数 556,951回
- ・はなたびタクシー利用券 利用枚数 3,193枚

・ふるさと納税推進事業（P.64）

1,393,316千円

民間のふるさと納税サイトを新たに6サイト追加し、令和7年3月末現在26サイトで寄附を募りました。返礼品の充実に努めるとともに、主要返礼品の配送日数の短縮、動画制作や雑誌・インターネットを活用した広告宣伝などに取り組みました。寄附は首都圏を中心に、広く全国から寄せられており、この事業を通して、さらに、恵庭の魅力発信や知名度の向上につながりました。

令和6年度ふるさと納税 129,854件 寄附総額 2,630,870千円

※ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附

●移住・定住の促進

・移住促進事業（P. 64）

12,667千円

移住・定住を促進するため、移住相談会への出展、オーダーメイドツアーの実施、移住・定住サイトにおけるPR及び移住者向け冊子の発行、移住者交流会などを実施しました。また、流通空家を増やす取り組みとして、住み替えセミナーを実施しました。

・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス数：57,494件

・移住イベントへのブース出展

東京、大阪、仙台のイベントへ出展 合計相談数：195件

・オンライン移住相談 参加数：4組

・オーダーメイドツアー 参加数：28組

・移住者交流会の実施 参加数：21組58名

・住み替えセミナーの開催 参加数：40名

・恵庭UIJターン新規就業支援事業補助金 交付件数：3件（世帯2件、単身1件）

●都市間交流の促進（P. 73）

893千円

・姉妹都市和木町との交流事業

6月28日～6月30日 : 和木町との相互交流（花とくらし展）
（和木町議会議員及び職員4名来恵）

1月22日～1月24日 : 行政派遣研修（職員2名派遣）

※和木町ふるさと祭り「わき愛あいフェスティバル」は中止

・友好都市藤枝市との交流事業

10月26日、10月27日：ふじえだ産業祭への相互出展

11月 2日、11月 3日：藤枝市市制施行70周年記念式典への出席
（市長・議長ほか2名）

・姉妹都市等交流促進事業補助金

第7回恵庭市長杯サッカー大会（来恵 1チーム）

第51回藤枝JC杯争奪少年少女サッカー大会（訪問者 14名）

恵庭市農商工等連携推進ネットワークによるふじえだ産業祭への出展交流事業（訪問者 1名）

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標 1 4 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討

子育てについての相談・指導などの各種支援に努め、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠・出産から子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型支援と、妊娠の届け出後及び出生後の経済的支援として出産・子育て応援給付金の支給を行いました。

・学童クラブ事業（P.99）

260,457千円

令和6年度は全20か所で学童クラブを運営しました。また、増加する学童クラブへの需要に対応するため、市内1か所の民間学童クラブへ運営費補助を継続実施しました。

また、学童クラブの利用要件を満たさない保護者が就労などの理由で家庭にいない児童に対し、小学校の長期休み期間中において学童クラブと同様な生活の場を提供する「長期休み学童預かり事業」を試行的に実施しました。

・学童クラブ受入状況（月平均）

区 分	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	要加配児童	合 計
R6 年度	238	185	167	107	39	12	15	763
R5 年度	217	207	163	101	27	13	15	743
比 較	21	△22	4	6	12	△1	0	20

・学童クラブ在籍状況（年度末）

	児童数		児童数		児童数		児童数
恵庭	44	和光	55	若草	29	恵み野	39
恵庭第2	50	和光第2	73	若草第2	33	恵み野第2	25
恵庭第3	29	和光第3	34	若草第3	20	恵み野旭	23
柏	34	島松	50	若草第4	28	恵み野旭第2	14
柏第2	29	島松第2	38	松恵	32	恵み野旭第3	19

・子育て支援センター事業の充実（相談件数・利用者数）（P.99）

相 談 項 目	件数	年 齢 等	利用者数
しつけ（基本的生活習慣）	95	保護者	11,528
発達（言語、情緒、身体）	105	0 歳	3,178
子どもの対人関係	25	1 歳	4,173
親子・家庭関係	49	2 歳	3,208
問合せ	182	3 歳以上	3,217
合 計	456	合 計	25,304

※相談件数・利用者数は、柏陽、恵み野、島松、黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況（P. 100）

区 分		就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計
R6 年度	恵庭子どもひろば	818	5,385	554	16	1,080	7,853
	黄金子どもひろば	345	10,776	360	27	909	12,417
	島松子どもひろば	148	3,409	402	9	186	4,154
	恵み野子どもひろば	1,955	5,866	205	10	3,072	11,108
	若草っ子ひろば	－	1,846	－	－	－	1,846
	柏子どもひろば	327	3,064	579	43	466	4,479
	松恵子どもひろば	－	1,356	－	－	－	1,356
	総 計						43,213
R5 年度	恵庭子どもひろば	761	5,360	390	17	789	7,317
	黄金子どもひろば	387	9,393	556	70	631	11,037
	島松子どもひろば	236	3,130	280	48	318	4,012
	恵み野子どもひろば	1,556	5,944	127	260	2,396	10,283
	若草っ子ひろば	－	1,556	－	－	－	1,556
	柏子どもひろば	340	2,618	492	38	462	3,950
	松恵子どもひろば	－	1,628	－	－	－	1,628
	総 計						39,783
比較	恵庭子どもひろば	57	25	164	△1	291	536
	黄金子どもひろば	△42	1,383	△196	△43	278	1,380
	島松子どもひろば	△88	279	122	△39	△132	142
	恵み野子どもひろば	399	△78	78	△250	676	825
	若草っ子ひろば	－	290	－	－	－	290
	柏子どもひろば	△13	446	87	5	4	529
	松恵子どもひろば	－	△272	－	－	－	△272
	総 計						3,430

ランドセル来館利用状況

	R6 年度		R5 年度		比較	
	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数
恵庭子どもひろば	0	0	2	24	△2	△24
黄金子どもひろば	6	292	0	0	6	292
島松子どもひろば	0	0	0	0	0	0
柏子どもひろば	0	0	0	0	0	0
合 計	6	292	2	24	4	268

・ファミリー・サポート・センター会員数／援助活動件数（P. 101）

【基本の預かり】

- ・依頼会員 781人
- ・協力会員 133人
- ・両方会員 48人
- 合 計 962人

援 助 内 容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	167
学童保育の送迎、預かり等	28
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	204
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	203
子どもの病気、習い事等の場合の援助	283
その他	44
合 計	929

【病児・病後児預かり】
・協力会員 34人

援 助 内 容	件数
病児・病後児の預かり	16
宿泊を伴う預かり	0
緊急度の高い預かり	2
送迎	2
(うち、医療機関の代理受診)	0
その他	0
合 計	20

・児童手当 (P. 95)

(単位：人・千円)

区分		第1子		第2子		第3子以降		合計	
		総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額
R6 年度	3歳未満	4,640	69,480	4,155	62,325	1,737	34,785	10,532	166,590
	3歳以上 ～中学生	31,459	314,590	20,258	202,580	7,049	146,990	58,766	664,160
	高校生	4,481	44,810	854	8,540	240	7,200	5,575	60,550
	特例給付	657	3,285	486	2,430	114	570	1,257	6,285
	小計	41,237	432,165	25,753	275,875	9,140	189,545	76,130	897,585
R5 年度	3歳未満	4,932	73,980	4,216	63,240	1,955	29,325	11,103	166,545
	3歳以上	21,882	218,820	15,808	158,080	5,790	86,850	43,480	463,750
	中学生	9,746	97,460	5,017	50,170	493	4,930	15,256	152,560
	特例給付	853	4,265	681	3,405	193	965	1,727	8,635
	小計	37,413	394,525	25,722	274,895	8,431	122,070	71,566	791,490
比 較		3,824	37,640	31	980	709	67,475	4,564	106,095

※3歳未満は月額15,000円、3歳以上は月額10,000円(～R6.9月までは3歳以上小学校修了前(第3子)も月額15,000円)

※0～18歳(第3子～)は月額30,000円(R6.10月以降)

・児童扶養手当 (P. 95)

区 分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計(人)	金額(千円)
R6 年度	329	244	123	696	306,809
R5 年度	311	260	124	695	305,212
比 較	18	△16	△1	1	1,597

・出産・子育て応援給付金支給事業 (P. 103)

区 分	支給者数	
	出産応援 (妊婦)	子育て応援 (児童)
R6 年度	378	379
R5 年度	518	432
比 較	△140	△53

※妊婦、児童1人に各50,000円を支給

・遺児手当 (P. 96)

区 分	就学児 (15,000 円/年)		未就学児 (12,000 円/年)		合 計	
	総人員	金額 (千円)	総人員	金額 (千円)	総人員	金額 (千円)
R6 年度	17	216	4	40	21	256
R5 年度	20	265	1	12	21	277
比 較	△3	△49	3	28	0	△21

・施設入所面会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額 (千円)
R6 年度	1	17
R5 年度	2	50
比 較	△1	△33

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額 (千円)
R6 年度	0	0
R5 年度	1	839
比 較	△1	△839

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R6 年度	53	111	535	0	0	0
R5 年度	23	59	314	0	0	0
比 較	30	52	221	0	0	0

・子育て世帯訪問支援事業

区 分	世帯数	児童数	訪問回数
R6 年度	5	11	14
R5 年度	4	14	37
比較	1	△3	△23

・家庭児童相談受付件数

(実件数)

項目	養育相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	ぐ犯行為等	触法行為等
R6 年度	112	81	1	0	0	3	0	109	2	3	1
R5 年度	175	67	7	0	0	1	1	104	2	1	1
比 較	△63	14	△6	0	0	2	△1	5	0	2	0

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性格行動	不登校	適性	しつけ・育児		
R6 年度	25	27	6	10	60	440
R5 年度	28	24	6	5	49	471
比 較	△3	3	0	5	11	△31

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談員 2名

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別ケース検討会議 13回 講演会 1回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
R6 年度	1	4	10	52	4	0	0	232	8	0	0	1	2
R5 年度	2	6	11	40	2	5	2	272	34	11	0	0	9
比 較	△1	△2	△1	12	2	△5	△2	△40	△26	△11	0	1	△7

項目	経済的支援・生活援助							その他						合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向 公営住宅	母子福祉施設 の利用	支援施設	母子生活	
R6 年度	238	0	0	347	3	0	4	0	0	0	0	0	0	906
R5 年度	134	17	2	277	5	1	55	0	0	0	0	0	0	885
比 較	104	△17	△2	70	△2	△1	△51	0	0	0	0	0	0	21

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (P. 95)

区 分	Web 関係	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
R6 年度	1	0	0	1	1	3
R5 年度	0	0	0	3	0	3
比 較	1	0	0	△2	1	0

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業 (P. 95)

区 分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	Web 関係	その他	合計	修了支援 給付金※
R6 年度	0	0	0	0	2	4	3	9	3
R5 年度	0	0	2	0	3	0	0	5	3
比 較	0	0	△2	0	△1	4	3	4	0

※養成課程が修了後 1 回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

区 分	利用者数	金額 (千円)
R6 年度	0	0
R5 年度	0	0

・ひとり親家庭等家庭生活支援員派遣事業（P. 95）

区 分	利用者数	利用回数	利用時間	金額（千円）
R6 年度	0	0	0	0
R5 年度	1	1	2	4
比 較	△1	△1	△2	△4

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況（P. 95）

区 分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区	島松地区	合計
R6 年度	延利用者数(人)	419	496	539	485	587	2,526
	開設日数(日)	50	49	48	52	47	246
R5 年度	延利用者数(人)	378	339	493	267	355	1,832
	開設日数(日)	49	46	100	43	50	288
比 較	延利用者数(人)	41	157	46	218	232	694
	開設日数(日)	1	3	△52	9	△3	△42

●保育園、認定こども園における待機児童の解消

延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業等を実施し、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上に努めました。

・延長保育事業

保育時間 1 8 時 1 5 分～1 9 時 1 5 分

区 分	実人員	延人員	利用 日数
すみれ保育園	60	451	247
島松いちい保育園	62	784	230
恵み野幼稚園	38	433	209
ひまわり幼稚園	28	481	200
さくら	25	237	130
えほんの森	39	1,426	283
幼稚園えるむ	25	838	245
えにわスマイル保育園	34	559	170
かしわ幼稚園	13	501	228
あいおい子ども園	28	373	168
島松幼稚園	20	128	87
北海道文教大学附属幼稚園	37	161	57
第二かしわ幼稚園	23	104	52
恵み野第二幼稚園	2	9	9
しままつスマイル保育園	11	75	39
島松もみじ保育園	10	44	28
ぴっころきっず	20	709	267
合 計	475	7,313	2,649

・一時保育事業

対象児：1 歳～就学前児

定 員：8 名程度/日

保育時間：7 時 1 5 分～1 8 時 1 5 分

区 分	実人員	延人員	利用 日数
すみれ保育園	107	605	233
島松いちい保育園	19	422	216
あいおい子ども園	47	1,183	261
えほんの森	13	220	165
合 計	186	2,430	875

※短時間認定の時間外含む

・ 保育所等入所児童数（2号・3号認定こども）

（令和7年3月31日現在）

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定員	入所率
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すみれ保育園	7	10	13	14	14	11	69	90	76.7%
島松いちい保育園	16	20	20	18	13	20	107	90	118.9%
恵み野幼稚園	8	16	17	15	14	16	86	86	100.0%
ひまわり幼稚園	6	15	16	14	7	12	70	79	88.6%
さくら	11	18	13	15	8	12	77	75	102.7%
えほんの森	9	15	15	13	11	13	76	75	101.3%
幼稚舎えるむ	12	16	11	8	12	17	76	69	110.1%
えにわスマイル保育園	8	12	13	11	5	7	56	60	93.3%
かしわ幼稚園	6	15	12	13	14	7	67	86	77.9%
あいおい子ども園	12	16	7	15	18	13	81	90	90.0%
恵庭幼稚園	9	13	6	19	17	21	85	80	106.3%
クラーク幼稚園	0	0	0	8	8	7	23	20	115.0%
島松幼稚園	0	0	0	8	6	6	20	20	100.0%
北海道文教大学附属幼稚園	8	16	15	15	15	14	83	90	92.2%
第二かしわ幼稚園	0	10	16	8	5	5	44	58	75.9%
恵み野第二幼稚園	0	9	9	8	4	4	34	51	66.7%
恵庭保育園	0	11	7	0	0	0	18	18	100.0%
しままつスマイル保育園	6	7	4	0	0	0	17	19	89.5%
島松もみじ保育園	8	8	6	0	0	0	22	19	115.8%
ぴっころきっず	2	2	2	0	0	0	6	7	85.7%
合 計	128	229	202	202	171	185	1,117	1,182	94.5%
うち、他市町村からの広域受入	0	0	2	1	0	2	5		
他市町村への広域入所	1	5	2	1	1	1	11		

・ 休日保育事業

定 員 ： 10名程度

開設時間 ： 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
あいおい子ども園	6	145	65

・ 多子世帯保育料軽減支援事業（保育料一部無償化）

対象 3歳未満児（第2子以降）

区 分	実人数	延人数
R6年度	264	2,505
R5年度	239	2,337

●保育士等の人材確保と質の向上

・保育士人材確保対策事業 (P.102)

34,033千円

保育士の就労環境改善により、新規就労促進・離職防止を図ることで、保育受け入れ可能人数の確保を図りました。事業者が保育士用の宿舍を借上げるための費用の一部を支援する保育士宿舍借上げ支援事業補助金、清掃や給食の配膳、児童の園外活動や特に見守り等が必要な時間帯等の安全管理等、保育に係る周辺業務を行う保育士資格を有しない職員の配置を支援する保育体制強化事業補助金の運用を継続しました。

・保育士就労支援事業補助金

交付対象事業者 9法人15施設

交付対象保育士 33名

・保育士宿舍借上げ支援事業補助金

交付対象事業者 6法人12施設

交付対象保育士 25名

・保育体制強化事業補助金

交付対象事業者 10法人17施設

保育支援者 19名

キッズガード 14名

スポット支援員 19名

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進

児童生徒等の思いやりの心やコミュニケーション力を育み、他者と良好な関係を構築する力を高めることを目的として、自分自身の生き方や人間関係について気づき学ぶ体験学習型の授業や講座を実施しました。

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション授業

実施回数：若草小学校 延2回、柏陽中学校 延4回

対象：若草小学校5年生、6年生 205名、柏陽中学校1年生、2年生 192名

・教職員等 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施回数：1回

対象：市内小中学校教職員等 49名

目標 15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうるおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・宿泊体験事業又は日帰り体験事業

・日帰り体験事業

恵み野地区 参加人数：18人 お仕事体験

恵庭地区 参加人数：11人 通学合宿

・恵庭子ども塾（P.169）

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内 容
ものづくり・実験教室	1	1	54人	おもしろ理科実験教室
体験学習	3	3	41人	食の体験ランド 春休みアートであそぼ！ ロボット操作体験
合 計	4	4	95人	

・青少年宿泊研修施設利用状況（P.169）

利 用 者：市内外の青少年団体（小学生、中学生および高校生の団体）

利用人数：412人（前年度研修施設利用人数 621人）

・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校5校（各校1人）
えにわっ子ジュニアセミナー	小学5年生～中学2年生 前期20人 後期18人
青 少 年 表 彰	青少年団体活動者賞（個人）2名
青少年育成事業補助金	2024スウェーデン・ロシアを迎える会 YOSAKOIソーラン体験！えにわっ子まつり どっかーん！ロケット発射！こいのぼり製作 みんなでチャレンジ！キッチンガーデン 北海道歴史舞台 絆花～中山久蔵物語～

・コミュニティ・スクールの推進

市内全小中学校に設置されている学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の理解度を深め、地域住民・保護者・学校が一体となって子供たちの成長にかかわっていく体制づくりに努めました。

「恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」 開催回数：4回 延参加人数：135人

・恵庭市はたちのつどい（P.168）

開催日：1月12日

対象参加者数：477人

●読書活動による子どもの育成

ブックスタートで本と出会った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業（P. 174）

ブックスタートパックを9～10か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：356人、配布パック数：356個

・ブックスタートプラス事業（P. 174）

絵本とガイドブックを1歳6か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：386人、配布パック数：386個

・認定子ども園及び保育所図書環境整備支援（P. 174）

・認定子ども園等 18施設 442千円

・読み聞かせ活動の推進（P. 174）

（おはなし広場開催状況）

（単位：回、人）

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	58	400	6.9
恵庭	15	106	7.1
島松	24	85	3.5
計	97	591	6.1

・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「家族で絵本を楽しもう！！」

3月8日 市立図書館視聴覚室 参加者数：53名

・小中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 451人（小学校155人、中学校296人）

・作品点数 450点（小学校154点、中学校296点）

・小・中学校学校司書の配置

・市内13小・中学校に各1名配置（和光小 2名）

・小・中学校の図書の充実（P. 160・163）

1）小学校学校図書館の現況

（単位：冊）

	R6年度	R5年度	増減
貸出冊数	192,850	177,667	15,183
一人当貸出数	53.9	49.2	4.7
蔵書冊数	84,256	83,554	702
一人当蔵書数	23.5	23.2	0.3

2）中学校学校図書館の現況

（単位：冊）

	R6年度	R5年度	増減
貸出冊数	37,552	38,012	△460
一人当貸出数	19.8	19.9	△0.1
蔵書冊数	60,994	61,673	△679
一人当蔵書数	32.2	32.3	△0.1

目標 16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 155)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	サケ飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	453 (303)
島松小学校	サケ飼育学習、学校課題取組推進、特別活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部事業	298 (298)
柏小学校	サケ飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	305 (305)
和光小学校	サケ飼育学習、学年学級活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、水泳学習の充実、宿泊学習費用、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	361 (361)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、国際理解教育推進、総合学習、サケ飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、漢字力向上の取組、学校支援地域本部事業、学校花壇活動の推進	231 (231)
若草小学校	若草ふれあいスクール、総合学習の充実、児童会活動の充実、サケ飼育学習、教育環境整備、学校花壇の整備、学校支援地域本部事業	318 (318)
恵み野小学校	サケ飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	250 (250)
恵み野旭小学校	児童会活動、サケ飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、スノースポーツ体験、環境整備、学校支援地域本部事業	454 (299)
恵庭中学校	吹奏楽部演奏活動・楽器購入、楽器整備、総合学習、生徒会活動充実、ゲストティーチャー、PTA・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業	607 (607)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育・不登校対策支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	289 (289)
恵明中学校	総合学習、サケ稚魚飼育観察、生徒会活動充実、地域住民・保護者・生徒交流、吹奏楽部の充実、楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業	660 (660)
柏陽中学校	サケ稚魚飼育観察、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援地域本部事業	352 (352)
恵み野中学校	サケ稚魚飼育観察、生徒会活動、情報教育推進、校舎整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校支援地域本部事業	346 (346)
合 計		4,924 (4,619)

●教育環境の整備促進

・認定こども園（１号認定こども）

（令和７年３月１日現在）

区 分	年齢別の入所児童数				
	満３歳	３歳	４歳	５歳	合 計
恵庭幼稚園	20 人	40 人	33 人	30 人	123 人
島松幼稚園	0 人	14 人	23 人	25 人	62 人
クラーク幼稚園	33 人	53 人	53 人	54 人	193 人
第二かしわ幼稚園	16 人	43 人	46 人	49 人	154 人
恵み野第二幼稚園	9 人	22 人	20 人	26 人	77 人
恵み野幼稚園	11 人	21 人	20 人	27 人	79 人
ひまわり幼稚園	18 人	29 人	40 人	28 人	115 人
さくら	5 人	2 人	8 人	2 人	17 人
えほんの森	1 人	5 人	7 人	4 人	17 人
幼稚舎えるむ	7 人	4 人	5 人	2 人	18 人
えにわスマイル保育園	1 人	4 人	9 人	5 人	19 人
かしわ幼稚園	13 人	27 人	33 人	29 人	102 人
あいおい子ども園	12 人	5 人	4 人	6 人	27 人
北海道文教大学附属幼稚園	5 人	7 人	8 人	6 人	26 人
合 計	151 人	276 人	309 人	293 人	1,029 人

・特別支援教育の推進（P.154）

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1) 学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校 13 校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ～ 13 校に 21 名を指名

2) 巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員 6 名

3) 特別支援教育支援員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	支援員数	勤務内容	対 象
小学校	8	24	週 29 時間勤務	個別の支援を必要としている児童生徒
中学校	5	11		

4) 特別支援学級・特別支援学校就学の状況

区 分	特別支援学校	特別支援学級						
		知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	計
新入学児童	3	11	19	0	0	0	0	30
在学児童生徒	1	18	26	1	1	0	0	46
計	4	29	45	1	1	0	0	76

5) 特別支援学級在籍・通級指導教室の状況（令和6年5月1日現在）

区 分	特別支援学級							言語 通級 教室	発達 通級 教室
	知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	計		
小学校在学	58	89	6	3	1	1	158	38	131
中学校在学	41	41	1	2	0	0	85	-	6
計	99	130	7	5	1	1	243	38	137

・児童生徒の相談体制の充実（P. 154）

青少年指導員：16名

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ、相談体制の充実を図りました。

1) 非行少年の状況

（単位：人）

区 分	R6 年度			R5 年度			比 較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小 学 生	10	2	12	2	4	6	8	△2	6
中 学 生	34	7	41	23	2	25	11	5	16
高 校 生	6	3	9	9	2	11	△3	1	△2
有 職 無 職 青 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	50	12	62	34	8	42	16	4	20

2) 電話相談件数

相談件数 4件（前年度比3件減）

3) スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの配置（2名）

（単位：校、回）

	学校数	派遣回数	
小学校	8	202	市スクールカウンセラー派遣 2名 3, 654時間 (道カウンセラーと兼任) 道スクールカウンセラー派遣 2名 352時間
中学校	5	105	
市民会館		32	

相談内容別相談件数

（単位：件）

相談内容	不登校	いじめ	暴力行為	児童虐待	友人関係	貧困の問題	非行・ 不良行為	家庭環境
相談件数	1,165(81)	41(6)	3(0)	3(0)	357(17)	6(0)	5(0)	437(16)

相談内容	教職員との 関係	心身の健康・保健	学業・ 進路	発達障害等	その他	合計
相談件数	59(19)	221(12)	134(6)	132(8)	394(5)	2,957(170)

その他：スクールカウンセラーの授業見学・研修会講師・ケース会議・家庭訪問等

相談者別相談件数

（単位：件）

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合 計
相談件数	814(49)	524(69)	1,512(50)	107(2)	2,957(170)

※（）内は市民会館相談件数

4)不登校対策事業（教育支援センター）

- ・指導員の配置 11名（令和7年3月31日時点）
- ・通室状況 小学生10人、中学生46人通室
- ・学校復帰 完全復帰3人、不定期登校・別室登校・部分復帰8人

5)メンタルフレンド事業

ボランティア登録者数（北海道文教大学の学生）33名

派遣実績：小学校・中学校合計 5件 …メンタルフレンド研修2回実施

6)なかよしさわやかDAY全市交流会

7月23日に市民会館にて、市内の小中学校の代表者が一堂に会し、みんなでいじめについて考える「なかよしさわやかDAY」全市交流会を開催しました。

交流会では、テーマに基づきグループ協議・発表を行いました。中学生が司会者となり、小学生をリードしながら、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交換が行われました。

・学力・体力向上推進事業（P.156）

12,237千円

- ・学力体力向上推進会議の設置

委員：8名 開催回数：3回

- ・学力向上アドバイザーの設置 会計年度任用職員1名
- ・標準学力検査（NRT）の実施（小学校2～6年生、中学校全学年）
- ・英検IBA・ESG（英語力の測定）の実施

英検IBA 中学校全学年

英検ESG 小学校6年生

- ・地域人材の活用 小学校外国語授業 個人2名、1団体
体育授業等実技支援 1団体 小学校8校 63回
中学校1校 3回

・部活動指導員配置事業（P.152）

部活動指導員を導入することにより、教員の部活動に関わる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保することなど、教員の「働き方改革」を推進するとともに、生徒が競技に理解のある指導員から指導を受けることで、技術の向上・けがの未然防止・個々に応じた適切な練習法の導入など、部活動の質的な向上を図りました。

配置状況：恵庭中学校 女子卓球部1名（年210時間）

恵北中学校 バスケットボール部1名（年210時間）

恵明中学校 女子バトミントン部1名（年210時間）

柏陽中学校 バスケットボール部1名（年210時間）

恵み野中学校 男子バレーボール部1名（年210時間）

・小学校、中学校環境整備事業（P.162・165）

- ・恵庭小学校エレベーター新設事業

36,758千円

エレベーターの設置工事

- ・恵庭小学校校舎防音機能復旧事業

11,495千円

老朽化したボイラー設備等の更新工事、冷房設備の設置工事に係る実施設計

- ・若草小学校外部物置新設事業

7,983千円

老朽化した物置の撤去・新設工事

- ・恵み野小学校非常用放送設備更新事業

1,232千円

老朽化した非常用放送設備の更新工事

- ・恵み野小学校・恵み野旭小学校学童物置改修事業 857千円
学童利用教室の物置改修工事
- ・小学校冷房設備設置事業 320,947千円
普通教室等に対する冷房設備の設置工事
(和光小学校・若草小学校・恵み野小学校・恵み野旭小学校)
- ・小学校遮光ブラインド設置事業 5,243千円
遮光ブラインドの設置工事(恵庭小学校)
- ・恵明中学校校舎・講堂トイレ改修事業 78,166千円
校舎及び体育館のトイレ改修工事
- ・恵み野中学校講堂外壁改修事業 93,918千円
体育館の外壁改修工事

- ・デジタルドリルの導入 (P.156) 10,890千円
市内小中学校13校にA I型デジタルドリル及び授業支援ソフトを導入しました。

- ・G I G A運営支援センター事業 (P.153) 15,125千円
教員・事務職員・支援人材I C T研修、I C T支援員の配置等を実施しました。

- ・高等学校等入学準備金支給事業 (P.153) 4,650千円
経済的な理由から高校等への修学に困難を有する生徒に対し、入学準備金を支給しました。
支給額 : 5万円
支給者数: 93人(前年度104人)

- ・学校における食農教育の推進 (P.158)
栄養教諭による学校給食を活用した食育の推進を図ったほか、毎月家庭への「給食だより」
「しょくいく」配布、給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と
食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

- ・センター稼働日数 197日、実施学校 市内全校(8校)

<実施状況>

(単位: 回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食 数	734,000
実施回数	176～ 182	186～ 193	186～ 193	186～ 192	184～ 192	184～ 190		

2) 中学校給食

- ・センター稼働日数 195日、実施学校 市内全校(5校)

<実施状況>

(単位: 回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	食 数	374,990
実施回数	186～ 193	184～ 186	173～ 185		

3) その他

- ・給食だより・しょくいく発行: 毎月発行4月～3月(12か月)
- ・協会ホームページへの掲載 : 毎月の給食献立及び食育情報
- ・市ホームページへの掲載 : 主要な食材の産地等情報

目標１７ 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

- ・有明会館防音機能復旧事業（P. 172） 61,947千円
老朽化したボイラー設備等の更新工事
- ・和光会館ホール天井改修事業（P. 173） 2,574千円
ホール天井のガラスブロックの改修工事
- ・市民会館耐震化等改修事業（P. 173） 183,605千円
市民会館大ホール側の耐震改修工事

・公民館活動等の充実（P. 173）

（単位：講座、人）

講座等事業名	講座数	受講者数
市民講座	12	333
くらしに役立つ健康講座	2	19
外国語講座	2	34
日曜趣味講座	4	30
パソコン教室	2	15
スポーツ教室	2	50

（単位：講座、人）

講座等事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	2	32
みんなで楽しむピアノコンサート	2	196
公民館サークル	28(団体)	264
文化交流講座	1	33
スマホの使い方講座	2	20
ロボット操作体験	1	5

- ・島松公民館まつり 舞台758人、展示482人

・図書資料等の充実（P. 174）

1)蔵書冊数の現況

（単位：冊）

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	152,750	39,777	192,527	7,985	200,512
恵庭	28,135	15,118	43,253	668	43,921
島松	23,135	9,589	32,724	439	33,163
計	204,020	64,484	268,504	9,092	277,596

2) 貸出状況

(単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	103,910	184,705	114,520	15,637	314,862	299	1,053.1
恵庭	34,734	66,945	49,242	4,206	120,393	359	335.4
恵庭ロッカー	4,244	5,873	1,941	271	8,085	359	22.5
島松	9,266	24,383	16,155	2,002	42,540	302	140.9
黄金	1,259	1,447	377	54	1,878	335	5.6
かしわ	731	915	157	6	1,078	335	3.2
北高	3	1	3	0	4	-	-
南高	48	63	0	1	64	-	-
文教附属	2	3	0	0	3	-	-
計	154,197	284,335	182,395	22,177	488,907	-	-

※絵本、紙芝居は児童書に含む

3) 団体貸出状況

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	398	49	10,349
恵庭			482
島松			717
計			11,548

4) レファレンス(資料相談)状況

区分	件数
本館	4,733
恵庭	2,636
島松	3,007
計	10,376

5) 予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料の 受付件数	未 所 蔵								計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	
本館	3,568	209	92	5	185	15	0	0	129	635
恵庭	1,613	145	18	2	121	0	0	0	86	372
島松	1,808	87	22	1	32	0	0	0	32	174
計	6,989	441	132	8	338	15	0	0	247	1,181

6) インターネット予約サービス

・受付件数：34,154件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 7,933冊
- ・学校間の貸出冊数 2,189冊

・長寿大学の推進

高齢社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいを見つけ社会活動に参加し、健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

- ・学習日数 (年間) 21日
- ・学生在籍数 (年度末) 87人

・えにわ学講座の推進

恵庭市を様々なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場として、えにわ学講座を開催しました。

開催日数：2回 参加者数：44人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

リカレント公開講座大学名	講座数	受講者延人数
北海道文教大学公開講座（長寿大学指定分）	30	127

・家庭教育支援事業

子どもを持つ保護者が安心感と自信を持って家庭教育支援を行い、子どもと一緒に成長するための学びを地域全体で支援しました。

事業名	延事業回数	延参加人数	内 容
はぴナビカフェ	23	147	緩やかな学びの場を提供
えにわまっぷ	1	70	親子を対象に子育てに役立つ体験を提供

・女性教育振興事業

・女性団体活動者研修会

「チョコレートの世界へようこそ！～持続可能なカカオづくり～」 参加者数：36人

・女性人材育成セミナー

「女性と漢方～女性特有の不調には漢方がオススメです～」 参加者数：30人

・生涯学習施設かしわのもり（P.167）

・開館日数 335日 利用人員 40,061人

・利用内容 スポーツ練習場 46.9% 子どもひろば 14.9%
子育て支援 9.1% その他 29.1%

・夢創館の活用（P.167）

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	359日	利用団体数	257団体	利用人数	11,486人	利用日数	222日
------	------	-------	-------	------	---------	------	------

指定管理者 主催事業	手作り雑貨マーケット in 夢創館（第8回）	参加者 266人
	手作り雑貨マーケット in 夢創館（第9回）	参加者 237人
	夢創館開館25周年JAZZコンサート	参加者 100人
	夢創館開館25周年記念アンサンブル奏楽室内楽コンサート	参加者 100人
	夢創館クリスマス福祉コンサート	参加者 80人
	オーロラ上映会	参加者 129人
連携等事業	百歳体操（25回）	参加者 499人

・史跡カリンバ遺跡の管理・整備(P.170・171)

6, 744千円

史跡カリンバ遺跡整備検討委員会を3回開催し、整備基本設計を策定しました。また、史跡の保護、整備の啓発を目的とした花植えや草刈りなどの環境整備、講演会・講座、まつり、体験学習や特別展をボランティア団体などと共に実施しました。

・市内遺跡の発掘調査等 (P.171)

5, 600千円

・試掘調査

5件(うち新規発見1件) ルルマップ川20遺跡等 調査面積31,305㎡

・金属製品保存処理

3点(鉄鍋等)

・郷土資料館の運営・事業 (P.169~170)

・入館者数 7,282人(前年度比 933人)

(学習会等開催状況)

(単位:人、回)

区 分	R6年度	R5年度	比 較
学習会参加者数(回数)	1,079(30)	349(25)	730(5)

・アイヌ政策推進交付金事業 (P.171)

1, 361千円

・アイヌ文化マスター育成事業 参加者:6人

市内在住の小中学生6名を公募し、アイヌ文化等への理解を深めるため、アイヌ文化やアイヌ語の学習、釧路市等での1泊2日の研修やウポポイでのアイヌ料理調理体験プログラムなど、全8回の講座や見学、体験等を行いました。

・アイヌ文化学習見学会事業 参加者:31人

アイヌ文化やアイヌと和人との関りを深く学ぶため、登別市と白老町のアイヌ文化関連施設を見学しました。現地の学芸員や文化庁調査官に解説をしていただき、アイヌ文化やアイヌと和人との関わりを学びました。

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

・芸術鑑賞機会の充実

文化協会と連携し、市民の舞台・作品等の発表機会を提供するため「えにわ市民文化祭」を実施しました。

・第69回えにわ市民文化祭

展 示		舞 台		合 計		入 場 者 数	
団体数	出品人数	団体数	出演人数	団体数	人数	展示	舞台
38	420	45	446	83	866	1,516	1,564

出品・出演・入場者合計 3,946人

・えにアートギャラリー 展示場所:はなふる 展示団体数:2団体

・文化団体の育成支援 (P.166)

郷土芸能団体へ補助金を交付し、郷土芸能の保存と技能継承、更なる普及発展を図り郷土愛の育成と活力あるまちづくりに努めました。また、文化協会事業に対し補助金を交付したほか、文化活動奨励補助金により市民の文化活動を奨励しました。

・恵庭市文化協会補助金 350千円

・郷土芸能団体への補助金(2団体) 440千円

・文化活動奨励補助金(4団体) 600千円

・文化事業派遣補助金(2団体) 15千円

・えにわ芸術文化宅配事業（P.166）

- ・登録作品数 ～ 絵画40点、書25点、写真50点、アート書道12点、パッチワーク22点
- ・展示箇所 ～ 41箇所（工場、金融機関、飲食店、事業所、幼稚園等）

・海外都市交流の促進（P.66）

恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通じた世界に開かれた地域づくりや、市民と地域の外国人にとって住みよいまちづくりに取り組みました。

- ・地域日本語教室 日本語ひろば「えにわ」の開催
日本語ひろば「えにわ」 24回開催、受講者延194人、学習支援ボランティア延273人
- ・日本語ボランティア養成講座 2回開催
- ・多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催 2回
外国人と接点のある関係者（町内会、教育機関、企業、行政等）が一堂に会し、情報共有や地域日本語教室の実施状況の報告、他自治体における在住外国人とのトラブル防止に関する取り組み事例及び恵庭市における今後の方向性についての意見交換を行いました。
- ・多文化共生フェスタの開催
地域住民と在住外国人の交流、多文化共生への理解促進のため、地域に住む外国人が自国を紹介するブース展示やスピーチ発表、パネルディスカッションを行いました。
参加者約1,200人、外国人によるスピーチ7人

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標１８ 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安全安心に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

駅周辺への都市機能の集積やバリアフリー化を目指すとともに、安心とにぎわいのあるまちづくりを進めました。

・島松駅周辺再整備事業（P.139） 181,276千円

島松駅周辺地区都市再生整備計画に基づき、島松駅東口駅前広場及び島松駅沿線の再整備を進めており、令和6年度で島松駅東口駅前広場及び島松駅沿線の改修工事を完了しました。

・島松複合施設整備事業（P.69） 5,020千円

令和9年3月の供用開始に向けて、施設整備・運営を行う事業者を募集するため、プロポーザル方式による事業者選定を行いました。

・バリアフリー特定事業（P.136） 72,270千円

バリアフリー特定事業計画に基づき、島松地区生活関連道路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

西6線 L=147.0m

●新市街地の拡大検討

・新市街地検討事業（P.68） 28,058千円

- ・本市を取り巻く周辺状況等の変化に対応するための新市街地拡大検討に伴い、都市計画マスタープランを改定し、立地適正化計画の策定を進めました。
- ・新たな都市的土地利用の検討区域とした工業用地、住宅地、商業地における土地利用の在り方を検討し、それに伴う市全体の交通体系の検討を行いました。

目標 19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 155)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 10月4日～10月16日
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作10名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 131・143)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ10本、ブルーベリー245本、ハスカップ64本、ヤマボウシ40本
- ・市民植樹公園・緑地帯 ドウダンツツジ15本、八重桜8本を植樹
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・2駅（恵庭駅、恵み野駅）ロータリー
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校全児童が学校農園、花壇作り、クリーン活動を実施し、5、6年生は緑の募金活動を行いました。

・街路樹剪定・適正管理事業 (P. 141)

35,695千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的な剪定と間引き伐採を進めることで快適な道路環境の維持に努めました。

・街路樹更新事業 (P. 136)

5,852千円

街路樹の再生指針に基づき、特定樹種の更新を行いました。

- ・街路樹残根処理 36箇所、新規樹木植栽 47本

・植樹柵・植樹帯管理助成事業 (P. 136)

2,558千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹柵・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かでうるおいのある街づくりを推進しました。

- ・実施団体：39団体

・街区公園美化活動助成金 (P. 141)

1,858千円

- ・実施町内会 13町内会 26公園

・公園施設長寿命化改修事業 (P. 141)

133,525千円

- ・公園遊具改修 23公園41施設
- ・外柵更新 1公園
- ・中島公園管理棟、トイレ改修
- ・公園のあり方等検討

- ・ 恵み野中央公園改修事業 (P. 142) 9, 170 千円

- ・ 公園面積 11.1 ha のうち、改修予定箇所 4.0 ha を対象とした立木調査
- ・ ワークショップ 4 回を含む改修基本計画策定

- ・ バリアフリー特定施設（公園）整備事業 (P. 141) 37, 114 千円

- ・ かつら公園トイレ、園路改修工事

- ・ 公園照明灯更新事業 (P. 141) 44, 869 千円

- ・ 公園照明灯柱更新（対象公園 24 公園の公園灯灯柱 55 基、引込柱 12 基、分電盤 1 基）

- ・ 街区公園再整備事業 (P. 142) 99, 661 千円

- ・ 街区公園改修設計 2 公園（チビッコ公園、どんぐり公園）
- ・ 街区公園再整備 4 公園等（おおぞら公園、わんぱく公園、はるにれ公園、西島松 1 号緑地）

- ・ 生活環境改善要望対策事業（公園施設）(P. 142) 35, 635 千円

市民から寄せられた公園施設や街路樹に関する意見・要望に対して、緊急性や利用者数などを勘案し、計画的に課題解決を進めました。

- ・ 公園用地取得事業 (P. 258) 46, 808 千円

夏季は公園、冬季は雪堆積場として通年の使用を見込み、公園予定地として南島松 268 番 1 の土地を取得しました。

- ・ 河川愛護会補助金 (P. 139) 143 千円

恵庭河川愛護会に補助金を交付し、河川清掃などの河川愛護活動を支援しました。

- ・ 自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信 (P. 63) 1, 725 千円

自転車に関する関心を高め、自転車の利用促進と、恵庭を知って、見て、感じてもらい、「農業」「観光」「商業」等、関連産業との連携、地域観光・経済の活性化を図ることを目的とした自転車イベントを、市内チェックポイントを自由に走行する方式で開催しました。また、令和 6 年度は長沼町・千歳市・北広島市に 3 日間限定の特設チェックポイントを設置し、恵庭市近郊の景観等を楽しめるようにしました。

- ・ サイクルフェスタ恵庭 2024：9 月 13 日～9 月 29 日
参加申込数：239 人

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

- ・ 恵浄殿改修事業 (P. 112) 14, 850 千円

恵浄殿改修計画に基づく主な改修

- ・ 火葬炉補修工事 セラミック張替え（2、3 号炉）、主燃焼炉バーナー取替（4 台）
- ・ 耐火ベッド交換（1、2 号炉）

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設設置により生じる障害を防止し、周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・ 防音(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 3 条第 2 項)
- ・ 民生安定施設整備(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 8 条)

(単位：千円)

事業名	種別	事業費	補助金	その他
恵庭小学校校舎防音機能復旧事業	防音	11,495	9,266	2,229
有明会館防音機能復旧事業	防音	61,947	26,148	35,799
市民会館耐震化等改修事業	防音	183,605	82,701	100,904
除雪車更新事業	民生安定	44,164	32,917	11,247
合 計		301,211	151,032	150,179

※事業費は補助対象額以外の関連事務経費等を含む。

- ・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区 分	交付額(千円)
R6 年度	242,901
R5 年度	245,205
前年比	△2,304

- ・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 9 条)
(P. 20)

区 分	交付額(千円)
R6 年度	392,689
R5 年度	368,453
前年比	24,236

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進

(単位：千円)

事業名	事業費	調整交付金	その他
子ども医療費助成事業(基金造成)	47,816	47,816	0
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	29,173	29,173	0
恵浄殿改修事業	17,083	15,473	1,610
スポーツ施設改修事業	64,885	51,282	13,603
道路整備事業	98,762	86,318	12,444
公園照明灯改修事業	44,869	40,481	4,388
街区公園再整備事業	99,661	85,381	14,280
消防用資器材整備事業	6,533	6,055	478
ICT 教育整備事業	7,242	5,854	1,388
消防団資器材整備事業	1,436	1,328	108
校内放送機器更新整備事業	19,217	18,082	1,135
小学校遮光ブラインド設置事業	5,243	4,172	1,071
図書館無線設備更新事業	1,386	1,274	112
合 計	443,306	392,689	50,617

※事業費には調整交付金対象額以外の関連事務経費等を含む。

・ 訓練交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条)(P.20)

(単位：千円)

事業名	事業費	訓練交付金	その他
若草小学校外部物置新設事業	7,983	5,830	2,153
合 計	7,983	5,830	2,153

※事業費には訓練交付金対象額以外の関連事務経費等を含む。

目標 20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 135)

区 分	延 長 (km)						出勤日数(日)	
	車道 (直営)	車道 (委託)	車道計	歩道 (直営)	歩道 (委託)	歩道計	直営	委託
R6 年度末	154.5	385.7	540.2	39.2	155.0	194.2	25	10
R5 年度末	154.5	385.0	539.5	39.2	155.0	194.2	31	13
比 較	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	△6	△3

・除雪車更新事業 (P. 136)

44,164千円

除雪トラック 1 台更新

・高齢者除雪サービス事業 (目標 9 に別掲)

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域のボランティアなどによる支援を行いました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第 3 次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第 2 次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。なお、市営駐車場・駐輪場については、令和 6 年 7 月より指定管理者による管理・運営を開始しました。

・地域公共交通システムの構築 (P. 60)

133,754千円

運転免許証返納者を対象に、エコバス・エコタク共通回数券を交付し、利用促進を図りました。

・地域公共交通活性化協議会：4 回開催

・えにわコミュニティバス運行状況

路 線	便 数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1 日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・定期券収入 (円)
A・Bコース	50 便 (27 便)	393,048	1076.8	64,676,050

・乗合タクシー運行状況

便 数	乗車人数 (人)	1 日平均乗車人数 (人)	運賃・回数券収入 (円)
7 便	7,951	27.1	1,781,300

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 60・279)

・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	102	35,995
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	25,453
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	31,892
恵み野跨線橋下東	3,977	H21.1.1	72	7,529
恵み野跨線橋下西	3,305	H21.1.1	73	12,750
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	36,521

・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口(札幌側)	371	恵み野駅	東口	743
	東口(千歳側)	433		西口	226
	西口高架下	382	島松駅		423
	西口屋内	550	サッポロビール庭園駅		35

●橋梁耐震化など安全な道路網の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備や橋梁耐震化による安全な道路網の確保の他、生活道路の道路改良や維持修繕、歩道の修繕により、沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業 (P. 137～138)

1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業) 98,762千円

6路線、改良舗装工事 L=462.13m
1路線、測量調査設計 L=235.40m

2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) 71,538千円

3路線、改良舗装工事 L=278.71m
8路線、測量調査設計 L=952.20m

3) 基線通周辺道路整備事業 (P. 138) 14,234千円

1路線、舗装工事 A=656㎡

4) 奥御料線道路整備事業 (P. 138) 17,226千円

1路線、測量調査・設計調査 L=360.00m

5) 南18ルルマップ川橋整備事業 (P. 138) 959千円

1路線、測量調査

6) 埋蔵文化財発掘調査事業 (P. 138) 8,624千円

1路線、表土掘削等工事 L=40.00m

・市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R6年度末	535,645	401,790	75.0
R5年度末	535,423	400,800	74.9
比較	222	990	0.1
増加率(%)	0.0	0.2	0.1

・道路補修事業 (P. 136)

195,049千円

簡易舗装修繕

恵み野地区、柏陽・中島地区 車道オーバーレイ A=7,008㎡

歩道舗装補修 A=3,570㎡

車道舗装補修 A=1,880㎡

道路施設補修工事 排水構造物撤去 縁石設置 L=521m

恵庭駅・恵み野駅エレベーター・エスカレーター改修

・ 橋梁長寿命化事業 (P. 136~137)	242, 530千円
橋梁補修工事 3 橋	(205, 674千円)
橋梁点検 6 2 橋	(36, 856千円)

・ 鉄道横断施設整備事業 (P. 137)	91, 001千円
島松大通アンダーパス補修	

・ 幹線道路舗装補修事業 (P. 137)	168, 784千円
1 路線、改良舗装工事	L = 1, 670. 23m

・ 車両センター大規模改修事業 (P. 136)	38, 973千円
屋根・外壁・トイレ改修工事、ボイラー更新	

● 照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持

・ 生活環境改善要望対策事業（道路施設）(P. 136)	92, 900千円
------------------------------	-----------

市民から寄せられた道路や除草といった身近な問題に対して、道路補修事業等の他事業と連携しながら、多様化するニーズや緊急性・損傷度などを勘案し、計画的に地域の課題解決を進めました。

・ 道路附属施設補修事業 (P. 136)	8, 855千円
分電盤撤去工事 2 5 箇所	

目標 2 1 安定した水供給と持続的な下水処理

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

令和 6 年度も恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略、恵庭市下水道ビジョン・経営戦略に基づき、効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。なお、恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略については、計画期間の中間年であったことから、令和 6 年 1 1 月に中間見直しを実施しました。

●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道事業の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿化事業を進めました。

・配水管等整備事業 (P. 327~328)

563,008 千円

(※事務費除く)

- 1) 耐震化・老朽化対策 290,405 千円
・配水管布設替 $\phi 50 \sim \phi 150$ L=4,187m
- 2) 配水管新規整備 20,565 千円
・配水管布設 $\phi 50 \sim \phi 75$ L=313m
- 3) 応急給水体制の確保 180,026 千円
・緊急貯水槽設置 ダクタイル鋳鉄製 100m³級 1基
- 4) メーター整備 72,012 千円
・検漏メーター取替 4,297 個

・下水道管渠整備事業 (P. 381)

589,868 千円

(※事務費除く)

- 1) 分流化 417,208 千円
・污水管布設 $\phi 200$ L=2,291m
- 2) 老朽化対策 52,129 千円
・マンホールポンプ盤移設工事 1箇所
・健全度調査 (テレビカメラ調査、管口カメラ調査) 1式
- 3) 耐震化 19,173 千円
・管渠可とう化 $\phi 1500 \sim \phi 1800$ 6箇所
- 4) 浸水対策 88,572 千円
・雨水管布設 $\phi 900$ L=210m
・樋門ゲート改造 1式
- 5) 污水整備 5,306 千円
・污水管布設 $\phi 150$ L=22m
- 6) スtockマネジメント計画 7,480 千円
・下水道ストックマネジメント計画(第2期)策定(R7~R11・対象施設:管路施設)

・ 公共下水道 整備及び水洗化状況

区 分	令和 6 年度末	令和 5 年度末	比 較
事業計画区域 (ha)	1, 887. 1	1, 887. 1	0. 0
整備済区域 (ha)	1, 874. 6	1, 874. 6	0. 0
整備率 (%)	99. 3	99. 3	0. 0
処理区域内人口 (普及人口) (人)	68, 588	68, 448	140. 0
水洗化人口 (人)	68, 484	68, 344	140. 0
水洗化率 (%)	99. 8	99. 8	0. 0
水洗化戸数 (戸)	22, 040	21, 957	83. 0

・ 下水終末処理場整備事業 (P. 382)

1 8 7, 4 0 2 千円

(※事務費除く)

- 1) 老朽化対策 1 6 2, 1 9 2 千円
 - ・ 改築工事委託に関する協定 (除塵機、コンベア、監視制御設備、計装設備、受変電設備等)
 - ・ 設備等更新工事 (沈砂流入遮断ゲート室扉、水処理施設扉 取替)
- 2) スtockマネジメント計画 2 5, 2 1 0 千円
 - ・ 下水道Stockマネジメント計画(第2期)策定(R 7～R 1 1・対象施設：処理場)

・ 個別排水処理施設整備事業 (P. 382)

9, 6 4 7 千円

- ・ 新設 5 基 (5 人槽 4 基、7 人槽 1 基)

●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、効率的な資源・エネルギー循環の取組み

・ 官民連携バイオガス発電事業 (P. 359)

下水終末処理場では、地域バイオマスとしてし尿・浄化槽汚泥及び生ごみを受入れ、下水汚泥と混合処理することで発生するバイオガスを利用した発電事業を行っています。

市は民間発電事業者 (水 ing エンジニアリング㈱) にバイオガスを売却、民間発電事業者はバイオガスを利用して発電し、売電しています。

- ・ バイオガス売却量 1, 6 7 1 千 Nm³
- ・ バイオガス売却益 7 2, 5 8 3 千円
- ・ バイオガス発電量 3, 1 2 2 千 kwh

目標 2 2 住み続けたくなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や建替事業・用途廃止事業の推進を図るため、他の市営住宅への移転や市営住宅解体工事等を進めました。

・市営住宅維持修繕 (P. 144) 39,455千円

日々の維持修繕業務を委託することにより、市営住宅管理業務の効率化を図りました。

・新規入居者に係る修繕 (P. 144) 14,061千円

新規入居者募集に係る空家修繕を30室実施。

・市営住宅長寿命化改修事業 (P. 145) 92,873千円

寿第一団地2号棟外壁屋根等改修工事

桜町団地12号棟外壁屋根等改修工事に係る実施設計

桜町団地11号棟外壁屋根等改修工事に係るアスベスト定性調査分析

・市営住宅設備改修 (P. 144~146) 84,014千円

桜町団地4~7号棟給水設備切替工事

桜町団地1~3号棟給水設備切替工事に係る実施設計

市営住宅既存不適格改解消修工事

旭団地3号棟電話配管改修工事

市営住宅外灯LED化取替工事

・柏陽団地解体事業 (P. 145) 55,149千円

柏陽団地第二優先区域解体工事

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業 (P. 144) 5,274千円

建替事業へ向けて、柏陽団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。

・移転件数 5戸 ・移転先修繕 8室

・寿第二・第三団地用途廃止事業 (P. 145) 6,216千円

用途廃止へ向けて、寿第二・第三団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。

・移転件数 5戸 ・移転先修繕 9室

・若草団地用途廃止事業 (P. 146) 2,402千円

用途廃止へ向けて、若草団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。

・移転件数 2戸 ・移転先修繕 2室

・既存借上型市営住宅事業 (P. 145) 124千円

生活情報誌で既存借上型市営住宅の制度周知を実施。

・学生入居事業 (P. 145) 2,882千円

市営住宅旭団地5階への入居募集を実施。

・入居件数 1戸 ・移転先修繕 3室

・令和6年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S48～S52	200	2DK, 3DK
恵央団地	H15～R4	222	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,074	

・セーフティネット住宅推進事業（P. 68）

79千円

不動産事業者に対してセーフティネット住宅の制度周知を実施。

・柏陽地区複合施設整備事業（P. 69）

10,331千円

複合施設整備に向け基本計画を策定しました。

目標 2 3 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の整備・適正管理

・ごみ処理量

(単位：t)

施設	種類	R6 年度	R5 年度	比較
生ごみ処理施設	家庭系一般廃棄物	1,752.53	1,902.97	△150.44
	事業系一般廃棄物	1,177.49	1,269.04	△91.55
	小計	2,930.02	3,172.01	△241.99
リサイクルセンター	家庭系一般廃棄物	2,071.05	2,145.35	△74.30
	事業系一般廃棄物	20.12	31.73	△11.61
	小計	2,091.17	2,177.08	△85.91
焼却施設	家庭系一般廃棄物	7,770.13	7,679.28	90.85
	事業系一般廃棄物	2,095.59	2,064.64	30.95
	産業廃棄物	1,442.34	1,544.44	△102.10
	その他	640.09	542.90	97.19
	小計	11,948.15	11,831.26	116.89
ごみ処理場	家庭系一般廃棄物	921.51	964.10	△42.59
	事業系一般廃棄物	1,986.85	1,960.83	26.02
	産業廃棄物	1,702.11	2,286.52	△584.41
	小計	4,610.47	5,211.45	△600.98
処理量合計		21,579.81	22,391.80	△811.99
ごみ処理場	鉄等搬出	96.86	83.99	12.87

●ごみの分別・収集体系の構築

・ごみ発生量

項目				単位	R6 年度	R5 年度	比較
処 理 対 象 人 口				人	70,125	70,023	102
処 理 対 象 世 帯				世帯	36,138	35,488	650
家庭系一般廃棄物	収 集	可 燃	燃	t	7,532.28	7,501.81	30.47
		生 ご み	み	t	1,785.25	1,917.40	△132.15
		不 燃	燃	t	403.46	417.37	△13.91
		粗 大 ご み	み	t	336.46	335.51	0.95
		資 源	源	t	2,080.55	2,143.39	△62.84
	小 計			t	12,138.00	12,315.48	△177.48
	直 搬 接 入	可 燃	燃	t	0.00	0.00	0.00
		不 燃	燃	t	362.85	358.90	3.95
		資 源	源	t	14.37	17.32	△2.95
	小 計			t	377.22	376.22	1.00
	合 計			t	12,515.22	12,691.70	△176.48
一般事業系廃棄物	可 燃	燃	燃	t	1,597.86	1,527.12	70.74
	生 ご み	み	み	t	1,197.22	1,276.62	△79.40
	不 燃	燃	燃	t	173.81	146.09	27.72
	資 源	源	源	t	20.12	31.73	△11.61
	合 計	計	計	t	2,989.01	2,981.56	7.45
集 団 資 源 回 収				t	1,410.57	1,437.83	△27.26
一 般 廃 棄 物 総 排 出 量				t	16,914.80	17,111.09	△196.29
1 人 1 日 当 た り の ご み 排 出 量				g	660.85	667.66	△6.81
リ サ イ ク ル 率				%	35.3	36.7	△1.4
産業廃棄物	可 燃	燃	燃	t	1,442.34	1,544.44	△102.10
	不 燃	燃	燃	t	1,452.32	2,040.09	△587.77
	合 計	計	計	t	2,894.66	3,584.53	△689.87
発 生 量 合 計				t	18,398.89	19,257.79	△858.90

・「ガーデンシティえにわFOOD BAG」の作製・配布

作製個数 : 600個

配布店舗数 : 12店舗

取組時期 : 10月～1月

使用個数 : 469個

本事業による生ごみの削減量(推計) : 101.48kg

目標 2 4 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについて、調査研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

- | | | |
|----------------------|---------|----------|
| ・ボランティア袋の配布 | 草木類専用 | 31, 512枚 |
| | ポイ捨てごみ用 | 17, 201枚 |
| ・環境美化等推進員登録件数 | 60町内会 | 82名 |
| ・集合住宅ごみ等優良保管場所累計認定件数 | | 51件 |

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：243日間（4月～11月及び翌3月：2人体制、12月～翌2月：1人体制）

・ポイ捨てに関する意識醸成

広報えにわ7月号で「ごみのポイ捨て」に関する記事を掲載

・不法投棄の未然防止及び投棄者特定

不法投棄多発エリアに監視カメラを設置

●地域に応じた自然環境の保護と管理（P.111）

3, 524千円

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・水質汚濁調査

- ・定期河川水質調査：市内7河川10ヵ所（年6回）
- ・ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）、地下水調査：4ヶ所（TPH試験1回）

・自動車騒音常時監視委託

- ・騒音測定：道道恵庭岳公園線（美咲野4丁目1）、道道島松停車場線（島松東町2丁目1）
- ・面的評価：道道恵庭岳公園線、道道島松停車場線 調査区間10.0km

・臭気物質測定調査

- ・臭気物質濃度及び臭気指数測定：4ヶ所

●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発（P.112）

9, 175千円

・脱炭素に関する連携協定の締結

市内の脱炭素社会の実現に向け、令和6年4月23日に恵庭商工会議所と連携協定を締結しました。本協定は、脱炭素社会実現に資する市内事業者への取組の推進及び啓発、省エネルギーの推進、産業部門及び業務部門の市内事業者における二酸化炭素排出量の削減、廃棄物の発生抑制・再使用及び再生利用の3Rの推進、地域経済の発展に資するゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みに関する事項を目的としています。

・GHG排出量可視化事業

産業部門のGHG排出量を可視化するため、市内事業者に対してGHG可視化システムの導入・利用、またはエネルギー使用量のデータ提供について、協力依頼を行いました。また、家庭部門のGHG排出量を可視化するため、エネルギー使用量データからGHG排出量を計算するシステムを開発し、利用促進のためのインセンティブ制度を設計しました。

GHG可視化システムの導入・利用、エネルギー使用量データ提供同意事業者数：35社

・環境審議会の開催（１回）、産学金官作業部会（２回）

「恵庭市の環境」令和６年度版、産学金官作業部会の役割・審議内容、ゼロカーボン・ロードマップへの取組・経過報告、市民向けインセンティブシステム制度設計・運用計画、市内事業者温室効果ガス排出量見える化事業のデータ活用について協議を実施しました。

・市域への普及啓発事業

市域への普及啓発のため、地球温暖化対策に資する情報発信、「えにわ環境・エネルギー展」の開催、ゼロカーボンラジオCMの作成と放送等を実施しました。

・市広報誌・生活情報誌・SNS広告での情報発信

・えにわ環境・エネルギー展の開催

開催日：９月８日 会場：花の拠点（はなふる） 来場者数：約６，０００人

・ゼロカーボンラジオCMとショート番組の作成・放送

放送期間：ラジオCM ６月１日～１月３１日（期間計４９０本）

ショート番組 ６月２５日～１月２８日（期間計８本）

